

2020 年度授業評価アンケート実施報告

【はじめに】

2020 年度のアンケートは、2019 年度まで実施したアンケートの設問、選択肢、回答方法を見直して新方式で実施する初年度でした。

回答方法を Web に変更したことが功を奏し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から多くの授業がオンラインで実施された今年度においても、皆様のご協力のもと、滞りなく実施することができました。

授業評価アンケートの結果が、それぞれの教育内容・方法のさらなる改善のために、十分に活用されることを願っております。

最後に、授業評価アンケート実施にあたりご協力いただきました多くの学生、教職員の皆さまに心よりお礼申し上げます。

【アンケート実施の目的】

学生による授業評価アンケートは、学生の視点から授業改善の手がかりを探り、個々の授業改善につなげることで教育の質を向上させることを目的とする。

【アンケートの概要】

1. 実施方法

原則、全科目を対象とし、授業最終日にアンケート方式により実施した。ただし、匿名性担保のため、履修人数が 10 名以下の科目は対象外とした。

2. アンケートの回答方法

T-navi にログインし、Web 上で回答する方法とした。

3. アンケート設問項目

1) 講義、演習用

(1) 学部、大学院看護栄養学研究科：選択式 12 問及び自由記載（「良かった点」「改善してほしい点」「その他、授業に関する意見・要望」）

(2) 助産研究科：選択式 15 問及び自由記載（「良かった点」「改善してほしい点」）

2) 臨地実習用

(1) 学部、大学院看護栄養学研究科：選択式 9 問及び自由記載（「良かった点」「改善してほしい点」「その他、授業に関する意見・要望」）

(2) 助産研究科：実習科目ごとに助産研究科で検討し、毎年度 4 月の FSDS 委員会で承認する。

4. アンケート結果の集計

アンケート集計表の作成は、日本通信紙株式会社に委託し、前期と後期・通年科目と分けて修正した。

1) 設問項目別回答分布表 :

人数、選択肢ごとの平均、前期又は後期開講科目全体の平均

2) 回答分布 : 100%積み上げ縦棒グラフ

3) 評価レーダーチャート :

選択肢ごとの平均、前期又は後期開講科目全体の平均

その他、アンケート結果の解釈・判断のため、「回収率」を表示する。

4) アンケートに対する科目責任者のコメントについて

科目責任者のコメント欄は、「自由記載に対するコメント」及び「結果全体に対するコメント」欄に分け、「結果全体に対するコメント」欄は、全科目責任者が記載することとした。

「自由記載に対するコメント」は、回答が必要と科目責任者が判断した内容について抽出し、その回答とあわせて記載した。なお、自由記載は学生には公開されないため、コメントを記載する際は、どんな意見であったかも必ず記載する。

記載にあたっては、Excel 版の集計表を事務局から科目責任者にメールで配信し、それぞれの欄に入力して返信する方法をとった。

5. アンケート集計速報の閲覧について

Web 方式となったことに伴い、回答期間終了後すぐに、学生は自身の履修科目の集計結果（グラフ）を、教員は自身の担当科目の集計結果及び自由記載が閲覧可能となった。

6. アンケート結果の公表

1) 科目ごとの PDF ファイルを、教職員には学内 LAN 掲示板、学生には Google ドライブに掲載して公開する。

2) 科目責任者が非常勤講師の場合は、FSDS 委員会事務局担当からメールで配付する。

【アンケート質問項目】

学部、大学院看護栄養学研究科 講義・演習用（選択肢 12 問、自由記載 3 問）

	質問項目	評価の選択肢
①	授業概要を読んで科目の概要、目標が理解できた	①理解できた ②ある程度理解できた ③あまり理解できなかった ④理解できなかった
②	授業の評価方法は適切だった	①適切だった ②ある程度適切だった ③あまり適切ではなかった ④適切ではなかった
③	授業は、授業概要の計画通りに進められた	①計画通りだった ②ある程度計画通りだった ③多少計画とは違った ④計画とは違った
④	教材、参考文献の提示は適切だった	①適切だった ②ある程度適切だった ③あまり適切ではなかった ④適切ではなかった
⑤	授業の方法（グループワーク、演習、視聴覚教材等の活用）は適切だった	①適切だった ②ある程度適切だった ③あまり適切ではなかった ④適切ではなかった
⑥	教員は学生の質問・発言に適切に応答していた	①適切だった ②ある程度適切だった ③あまり適切ではなかった ④適切ではなかった
⑦	授業で要求される作業量（レポート、課題など）は適切であった	①適切だった ②ある程度適切だった ③あまり適切ではなかった ④適切ではなかった
⑧	授業の内容を理解できた	①理解できた ②ある程度理解できた ③あまり理解できなかった ④理解できなかった
⑨	授業によって、自分の考えを深めることができた	①深めることができた ②ある程度深めることができた ③あまり深めることができなかった ④深めることができなかった
⑩	授業によって、さらに学びを広げたいと感じた	①広げたいと感じた ②ある程度広げたいと感じた ③あまり広げたいと感じなかった ④広げたいと感じなかった

⑪	1回の授業に対してどの程度予習・復習（課題を含む）を行いましたか	①3時間以上 ②2時間以上3時間未満 ③1時間以上2時間未満 ④30分以上1時間未満 ⑤30分未満
⑫	授業全般を通し、この授業に満足した	①満足した ②ある程度満足した ③あまり満足しなかった ④満足しなかった
⑬	この授業について、良かった点を記載してください。	
⑭	この授業について、改善してほしい点を記載してください。	
⑮	その他、この授業に関する意見・要望があれば記載してください。	

学部、大学院看護栄養学研究科 臨地実習用（選択肢9問、自由記載3問）

	質問項目	評価の選択肢
①	オリエンテーションの内容は適切でしたか	①適切だった ②ある程度適切だった ③あまり適切ではなかった ④適切ではなかった
②	この科目における実習の目的や目標は明確でしたか	①明確だった ②ある程度明確だった ③あまり明確ではなかった ④明確ではなかった
③	教員や指導者は、学生を尊重し、真剣に関わりましたか	①関わった ②ある程度関わった ③あまり関わらなかった ④関わらなかった
④	教員と指導者は、連携をとりながら指導しましたか	①連携していた ②ある程度連携していた ③あまり連携していなかった ④連携していなかった
⑤	実習課題や記録物の量は適切でしたか	①適切だった ②ある程度適切だった ③あまり適切ではなかった ④適切ではなかった
⑥	教員や指導者に相談や質問ができる体制が整っていましたか	①整っていた ②ある程度整っていた ③あまり整っていなかった ④整っていなかった
⑦	実習に使用する教材、参考文献の提示は適切だった	①適切だった ②ある程度適切だった ③あまり適切ではなかった ④適切ではなかった
⑧	あなたは、実習に積極的に取り組みましたか	①十分にできた ②ある程度できた ③あまりできなかった ④できなかった
⑨	あなたは、実習の目標を達成できましたか	①達成できた ②ある程度達成できた ③あまり達成できなかった ④達成できなかった
⑩	この授業について、良かった点を記載してください。	
⑪	この授業について、改善してほしい点を記載してください。	
⑫	その他、この授業に関する意見・要望があれば記載してください。	

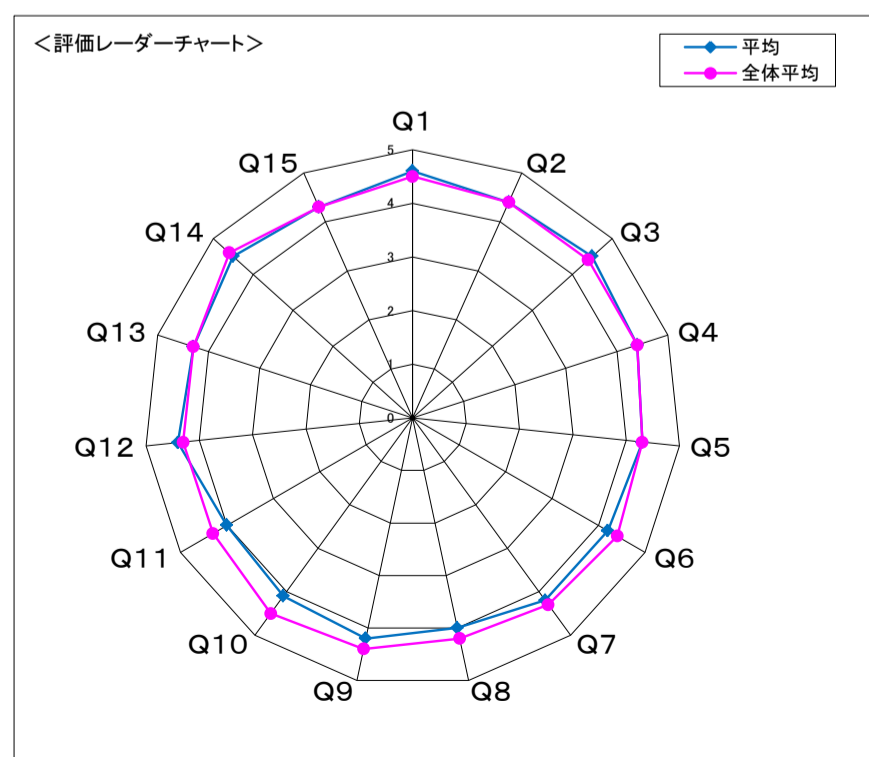
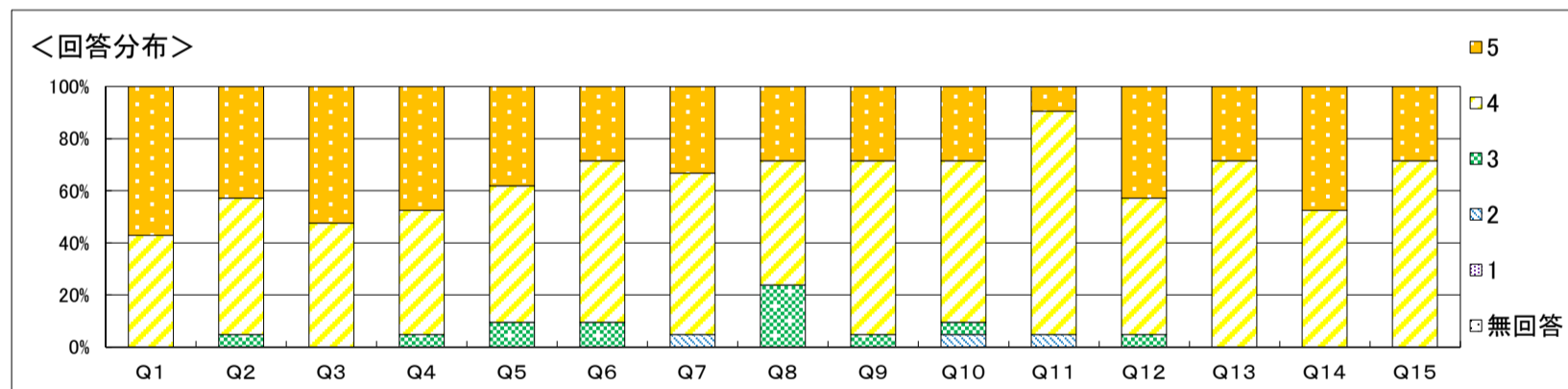
とてもそう思う（４）、ある程度そう思う（３）、あまりそう思わない（２）、そう思わない（１）

①	シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた。
②	授業の構成は体系的に行われていた。
③	授業の時間数は適切だった。
④	授業の進行は適切だった。
⑤	授業方法、形態（対話・討論型授業、ワークグループなど）は適切だった。
⑥	視聴覚教材（黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど）は理解の促進に効果的だった。
⑦	授業内容はわかりやすく説明されていた。
⑧	授業で要求される作業量（レポート、宿題など）は適切だった。
⑨	教員は効果的に院生の参加（発言、自己学習、作業など）を促した。
⑩	教員は院生の質問・発言等に適切に対応した。
⑪	自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した。
⑫	自分は指定図書を活用し、授業に参加した。
⑬	自分は授業の事前・事後学習（課題を含む）を行った。
⑭	自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた。
⑮	自分は授業の履修目標は達成できた。
⑯	この授業について、良かった点を記載してください。
⑰	この授業について、改善してほしい点を記載してください。

科目名	(500001) 4000012F11100100 助産学概論		
学科	助産研究科	履修者数	21人
学年	基礎1年・教育1年	回収数	21人
必修・選択の別	基礎必修・教育必修	回収率	100.0%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	12	9	0	0	-	0	4.6	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	9	11	1	0	-	0	4.4	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	11	10	0	0	-	0	4.5	4.4
4. 授業の進行は適切だった	10	10	1	0	-	0	4.4	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	8	11	2	0	-	0	4.3	4.3
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	6	13	2	0	-	0	4.2	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	7	13	0	1	-	0	4.2	4.3
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	6	10	5	0	-	0	4.0	4.2
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	6	14	1	0	-	0	4.2	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	6	13	1	1	-	0	4.1	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	2	18	0	1	-	0	4.0	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	9	11	1	0	-	0	4.4	4.3
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	6	15	0	0	-	0	4.3	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	10	11	0	0	-	0	4.5	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	6	15	0	0	-	0	4.3	4.3



自由記載に関するコメント

* 今後は遠隔授業の前に授業資料を送付します。
 * 今年はコロナの影響で、Zoomによるグループワークが難しい状況であり、課題レポートが多かった現状がありました。今後は遠隔授業でも、グループワークがスムーズにできるようにします。

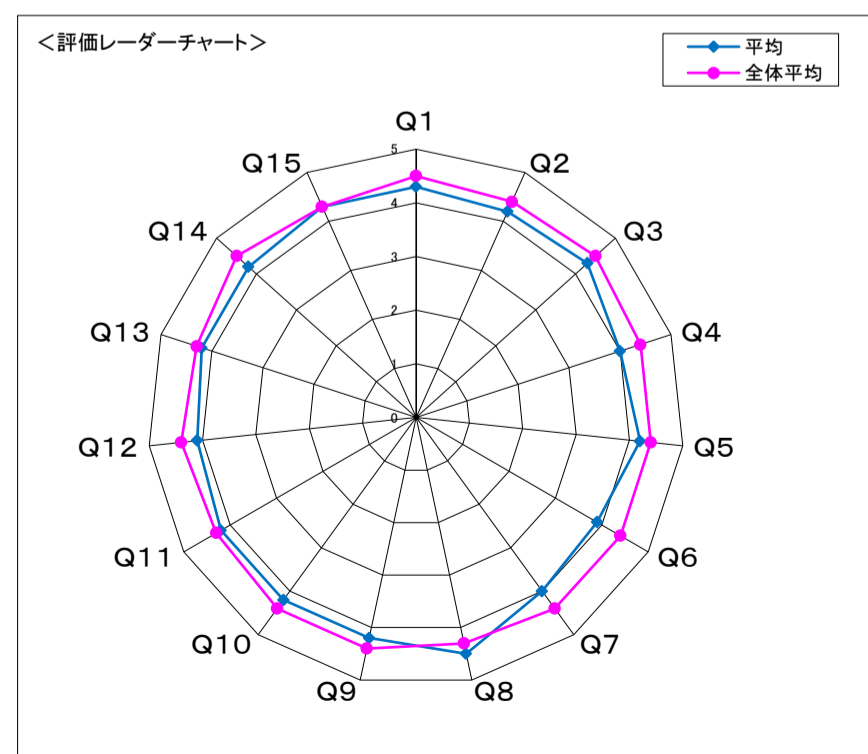
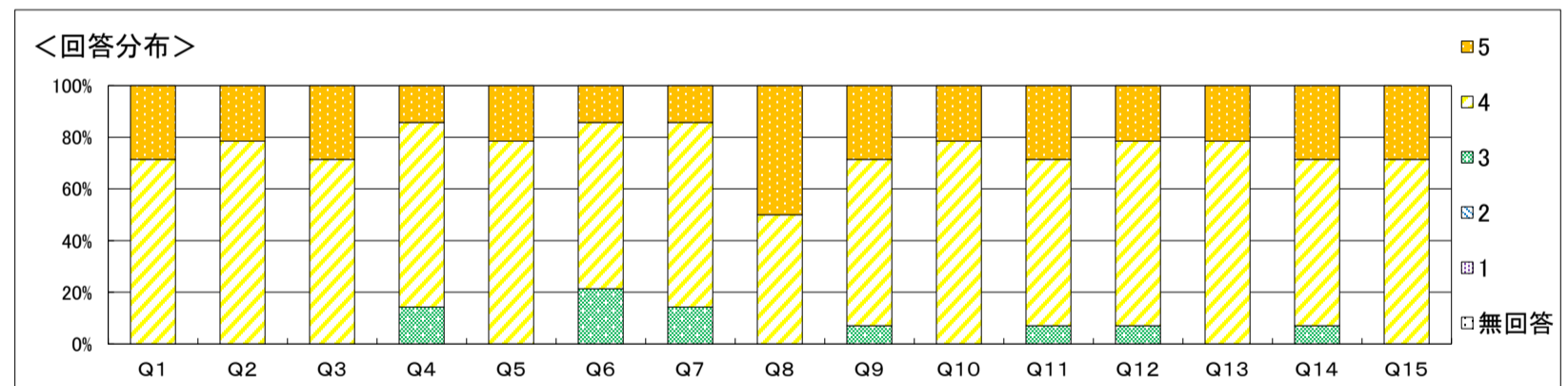
結果全体に対するコメント

全体平均より0.1アップしている項目が3項目。全体平均と同点数が5項目。0.1から0.4点ダウンしている項目が7項目であった。今年度はコロナの影響で自己学修時間があり、指定図書の活用が例年よりポイントが高かった。授業態度の積極性は前年と変わらず、全校平均よりポイントが低かった。

科目名	(500019) 40000182F11100200 助産哲学・倫理 I		
学科	助産研究科	履修者数	21人
学年	1	回収数	14人
必修・選択の別	必修	回収率	66.7%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	4	10	0	0	-	0	4.3	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	3	11	0	0	-	0	4.2	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	4	10	0	0	-	0	4.3	4.5
4. 授業の進行は適切だった	2	10	2	0	-	0	4.0	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	3	11	0	0	-	0	4.2	4.4
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	2	9	3	0	-	0	3.9	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	2	10	2	0	-	0	4.0	4.4
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	7	7	0	0	-	0	4.5	4.3
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	4	9	1	0	-	0	4.2	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	3	11	0	0	-	0	4.2	4.4
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	4	9	1	0	-	0	4.2	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	3	10	1	0	-	0	4.1	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	3	11	0	0	-	0	4.2	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	4	9	1	0	-	0	4.2	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	4	10	0	0	-	0	4.3	4.3



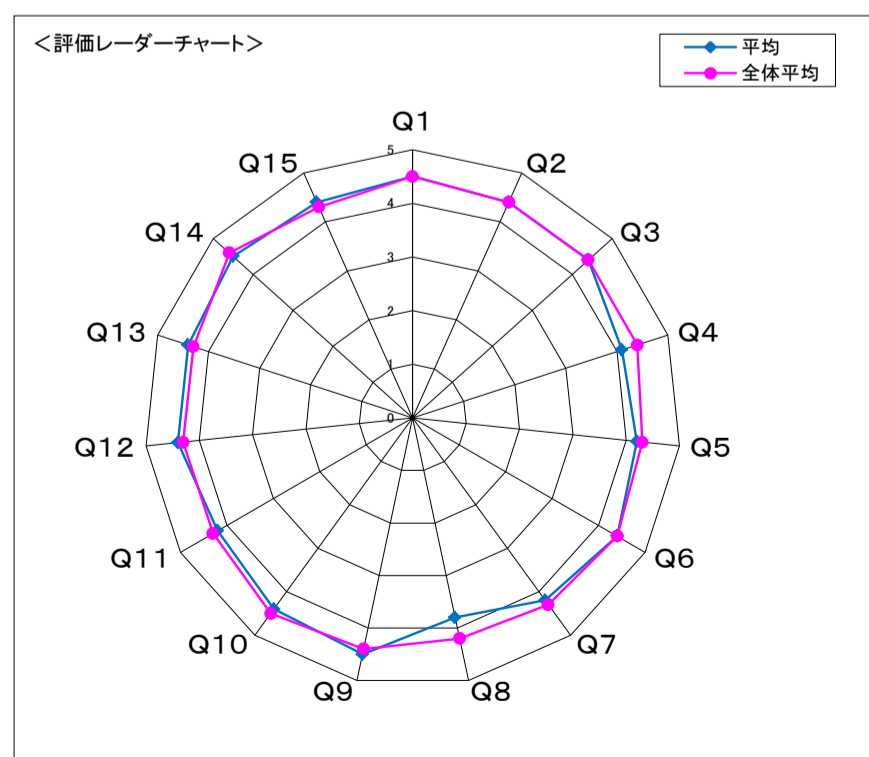
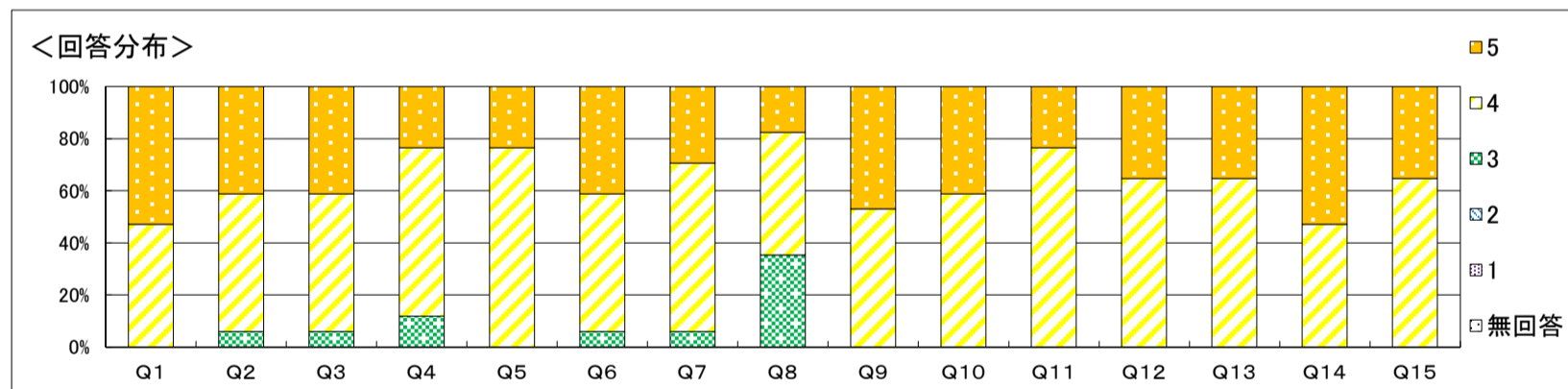
自由記載に関するコメント
 次年度もグループワークを通して、他者の意見を理解するよう行う。

結果全体に対するコメント
 院生の平均点4.2以下の項目は4項目あった。授業進行、視聴覚教材、授業内容の説明の3項目は0.3から0.2ポイント低下していた。次年度は、この3項目を留意して授業を行う。あとの1項目は院生の事前、事後の学修姿勢が0.1ポイント低かったので、事前、事後学修について授業内で動機づけをする。

科目名	(500002) 4000022F11100400 出産の文化		
学科	助産研究科	履修者数	21人
学年	基礎1年・教育1年	回収数	17人
必修・選択の別	基礎必修・教育選択	回収率	81.0%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	9	8	0	0	-	0	4.5	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	7	9	1	0	-	0	4.4	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	7	9	1	0	-	0	4.4	4.4
4. 授業の進行は適切だった	4	11	2	0	-	0	4.1	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	4	13	0	0	-	0	4.2	4.3
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	7	9	1	0	-	0	4.4	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	5	11	1	0	-	0	4.2	4.3
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	3	8	6	0	-	0	3.8	4.2
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	8	9	0	0	-	0	4.5	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	7	10	0	0	-	0	4.4	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	4	13	0	0	-	0	4.2	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	6	11	0	0	-	0	4.4	4.3
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	6	11	0	0	-	0	4.4	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	9	8	0	0	-	0	4.5	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	6	11	0	0	-	0	4.4	4.3



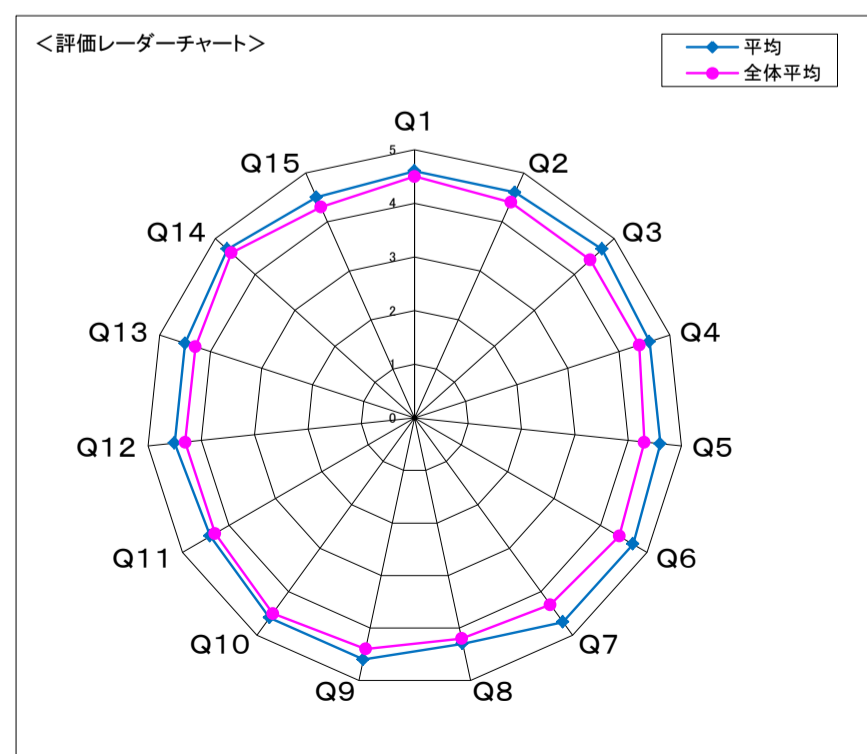
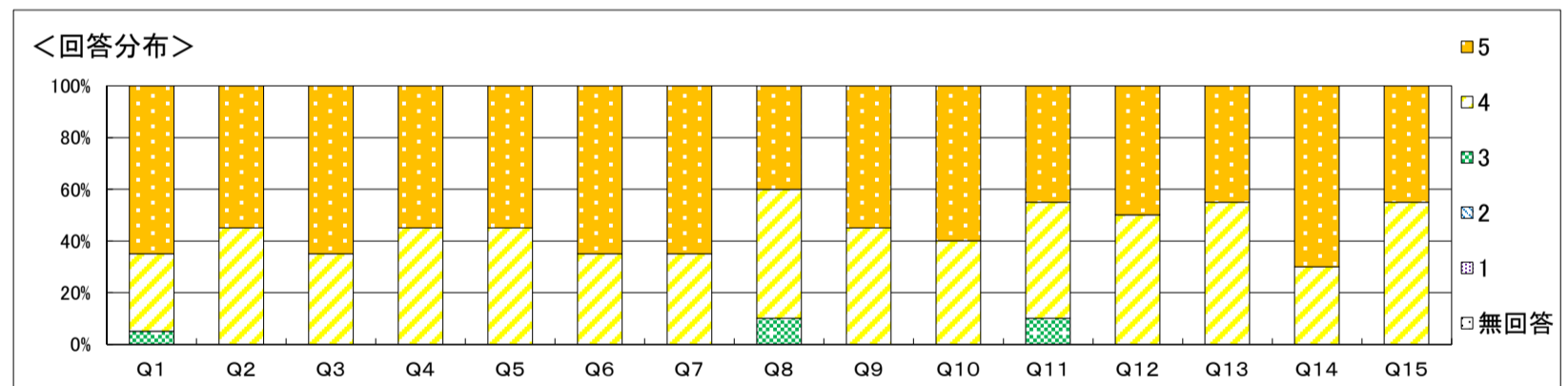
自由記載に関するコメント
 配布資料については興味関心を持ち、学習を深められとの内容のコメントがあった。
 課題の出題から提出までの期日が短いとの意見があった。院生が質の高いレポートを仕上げられるよう適切な期日の設定を行っていききたい。

結果全体に対するコメント
 新しい知見、考えを持たせ、履修目標を達成できたとの評価が平均4.5と高い。
 授業の進行と要求される作業量についての評価の平均が3.8と比較的低い結果であった。テキストや配布資料のボリュームと授業の進行について見直していききたい。

科目名	(500003) 4000032F11200100 女性のフィジカルイグザミネーション		
学科	助産研究科	履修者数	21人
学年	基礎1年・教育1年	回収数	20人
必修・選択の別	基礎必修・教育選択	回収率	95.2%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	13	6	1	0	-	0	4.6	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	11	9	0	0	-	0	4.6	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	13	7	0	0	-	0	4.7	4.4
4. 授業の進行は適切だった	11	9	0	0	-	0	4.6	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	11	9	0	0	-	0	4.6	4.3
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	13	7	0	0	-	0	4.7	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	13	7	0	0	-	0	4.7	4.3
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	8	10	2	0	-	0	4.3	4.2
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	11	9	0	0	-	0	4.6	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	12	8	0	0	-	0	4.6	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	9	9	2	0	-	0	4.4	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	10	10	0	0	-	0	4.5	4.3
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	9	11	0	0	-	0	4.5	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	14	6	0	0	-	0	4.7	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	9	11	0	0	-	0	4.5	4.3



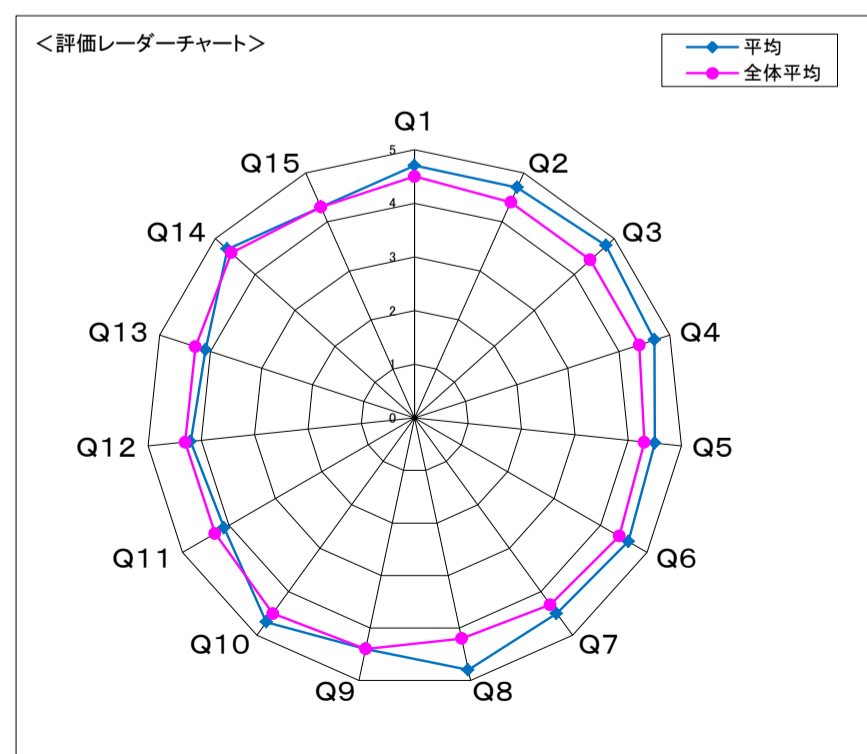
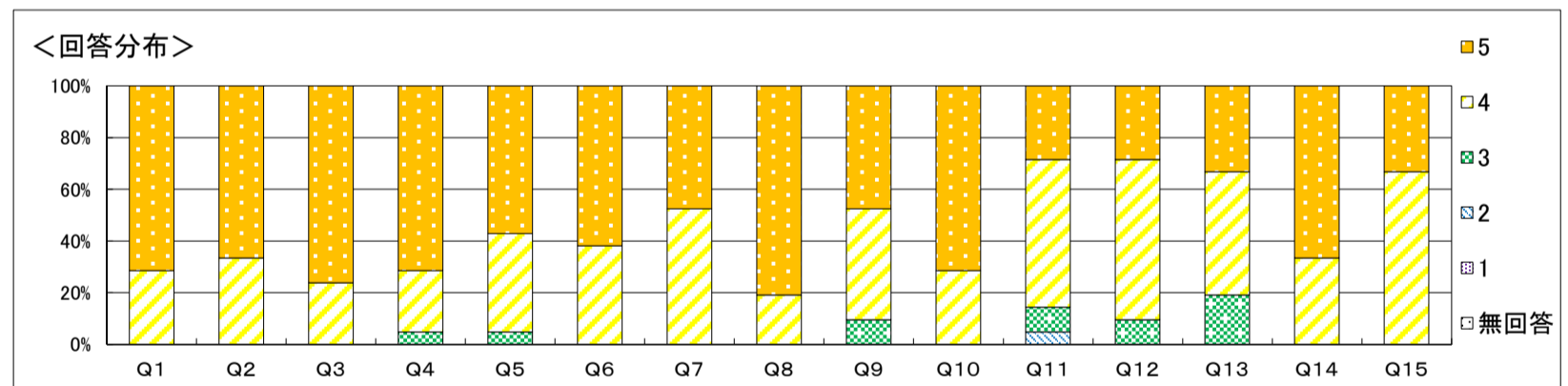
自由記載に関するコメント
 遠隔授業の方法と演習時間をできる限り増やすような工夫をしていく。また、演習評価の方法と内容について明示する。

結果全体に対するコメント
 授業の進め方と内容については、次年度に向けても踏襲していく。レポートや課題の内容と提出時期を検討する。

科目名	(500004) 4000042F11200200 助産薬理学 I		
学科	助産研究科	履修者数	21人
学年	基礎1年	回収数	21人
必修・選択の別	基礎必修	回収率	100.0%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	15	6	0	0	-	0	4.7	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	14	7	0	0	-	0	4.7	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	16	5	0	0	-	0	4.8	4.4
4. 授業の進行は適切だった	15	5	1	0	-	0	4.7	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	12	8	1	0	-	0	4.5	4.3
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	13	8	0	0	-	0	4.6	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	10	11	0	0	-	0	4.5	4.3
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	17	4	0	0	-	0	4.8	4.2
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	10	9	2	0	-	0	4.4	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	15	6	0	0	-	0	4.7	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	6	12	2	1	-	0	4.1	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	6	13	2	0	-	0	4.2	4.3
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	7	10	4	0	-	0	4.1	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	14	7	0	0	-	0	4.7	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	7	14	0	0	-	0	4.3	4.3



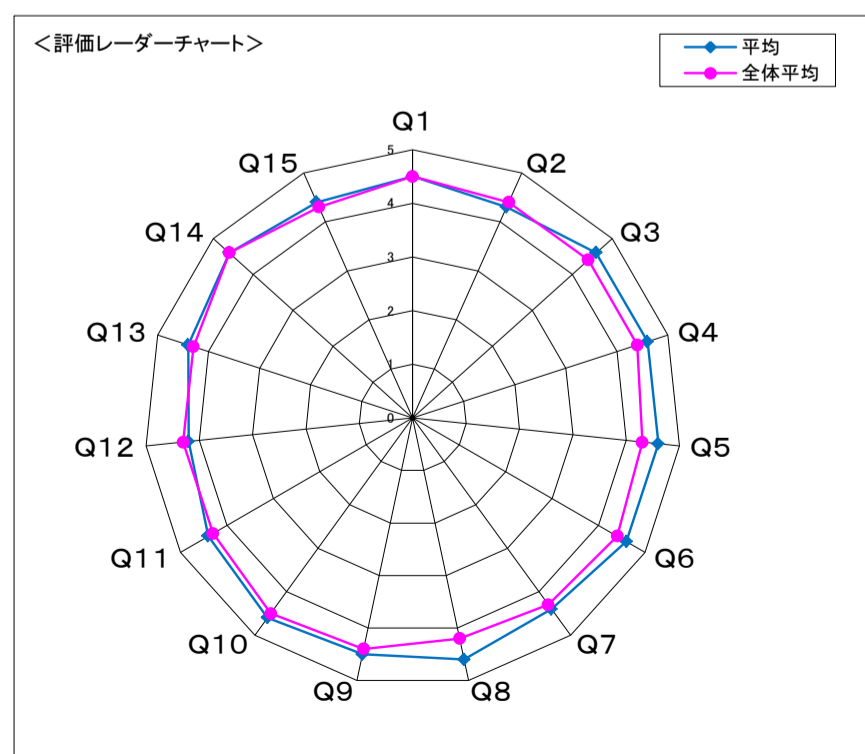
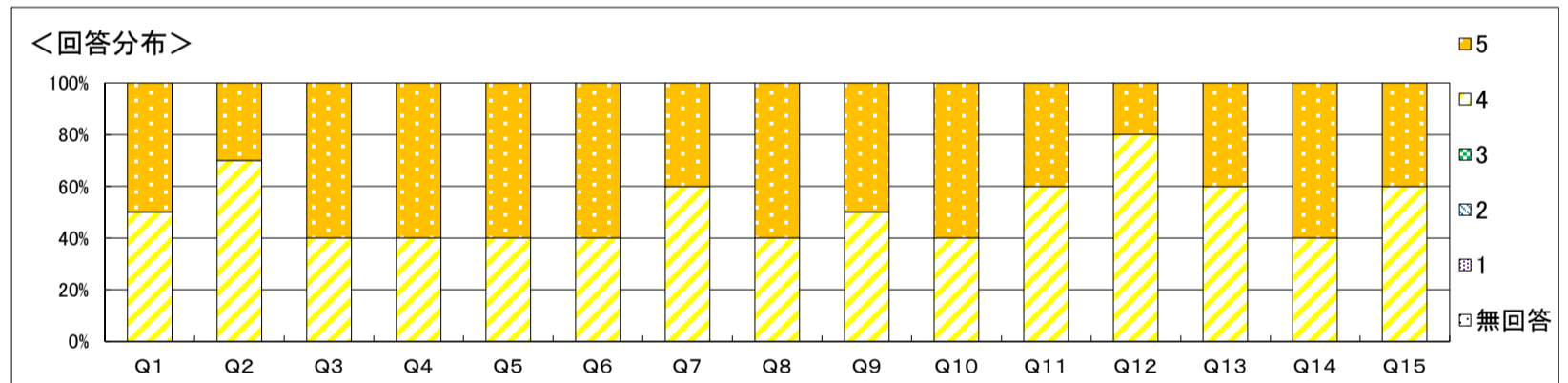
自由記載に関するコメント
 グループワークを入れることは、無理かもしれませんが、質疑応答ができるように工夫してみる。

結果全体に対するコメント
 自己学習の項目の得点が全体平均を下回っていることから、自己学習が進むように参考書や課題学習の工夫・検討をする。

科目名	(500005) 4000052F11200300 助産薬理学Ⅱ(助産薬理学)		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎2年・教育2年	回収数	10人
必修・選択の別	基礎必修・教育選択	回収率	52.6%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	5	5	0	0	-	0	4.5	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	3	7	0	0	-	0	4.3	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	6	4	0	0	-	0	4.6	4.4
4. 授業の進行は適切だった	6	4	0	0	-	0	4.6	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	6	4	0	0	-	0	4.6	4.3
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	6	4	0	0	-	0	4.6	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	4	6	0	0	-	0	4.4	4.3
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	6	4	0	0	-	0	4.6	4.2
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	5	5	0	0	-	0	4.5	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	6	4	0	0	-	0	4.6	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	4	6	0	0	-	0	4.4	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	2	8	0	0	-	0	4.2	4.3
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	4	6	0	0	-	0	4.4	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	6	4	0	0	-	0	4.6	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	4	6	0	0	-	0	4.4	4.3



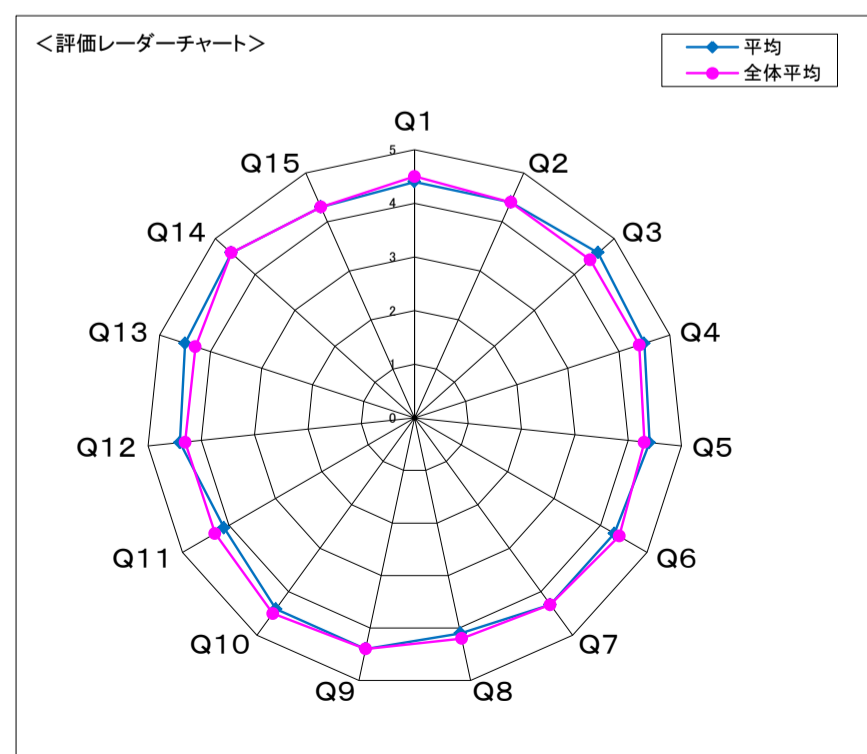
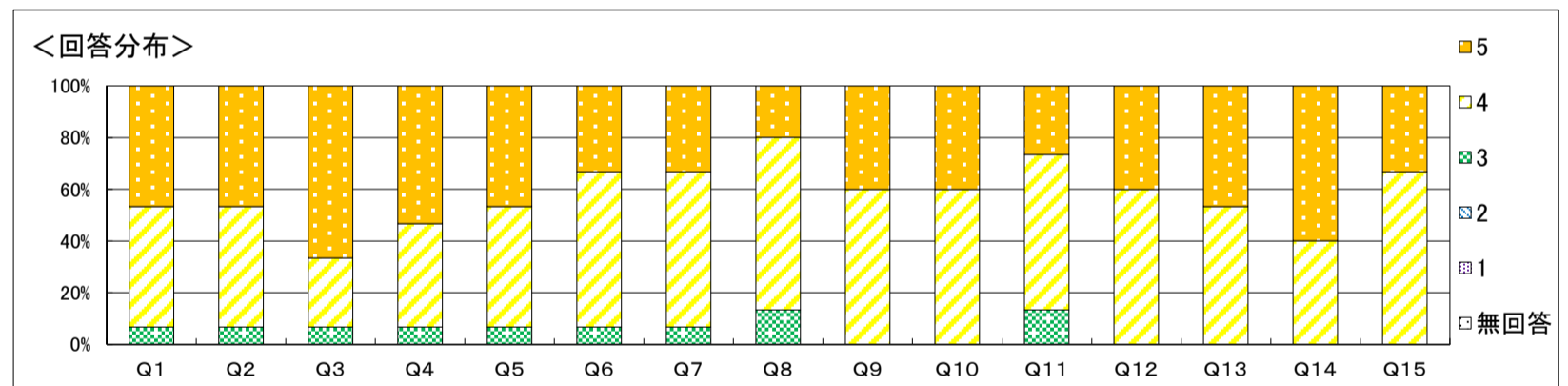
自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント
 全体平均をやや下回っている項目2に関して、科目責任者が授業の構成を再検討することで、授業構成の体系化を図る。また2人の非常勤講師には、ほぼ全項目が全体評価平均を上回っていることを授業評価として伝える。

科目名	(500006) 4000062F11200400 妊産褥婦乳幼児の栄養		
学科	助産研究科	履修者数	21人
学年	基礎1年	回収数	15人
必修・選択の別	基礎必修	回収率	71.4%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	7	7	1	0	-	0	4.4	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	7	7	1	0	-	0	4.4	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	10	4	1	0	-	0	4.6	4.4
4. 授業の進行は適切だった	8	6	1	0	-	0	4.5	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	7	7	1	0	-	0	4.4	4.3
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	5	9	1	0	-	0	4.3	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	5	9	1	0	-	0	4.3	4.3
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	3	10	2	0	-	0	4.1	4.2
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	6	9	0	0	-	0	4.4	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	6	9	0	0	-	0	4.4	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	4	9	2	0	-	0	4.1	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	6	9	0	0	-	0	4.4	4.3
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	7	8	0	0	-	0	4.5	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	9	6	0	0	-	0	4.6	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	5	10	0	0	-	0	4.3	4.3



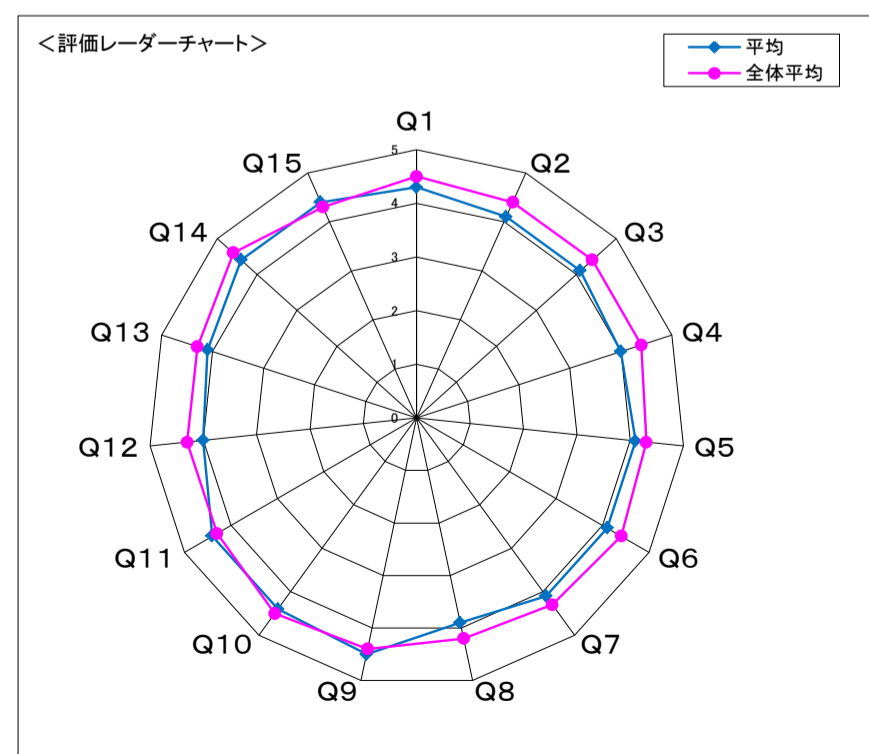
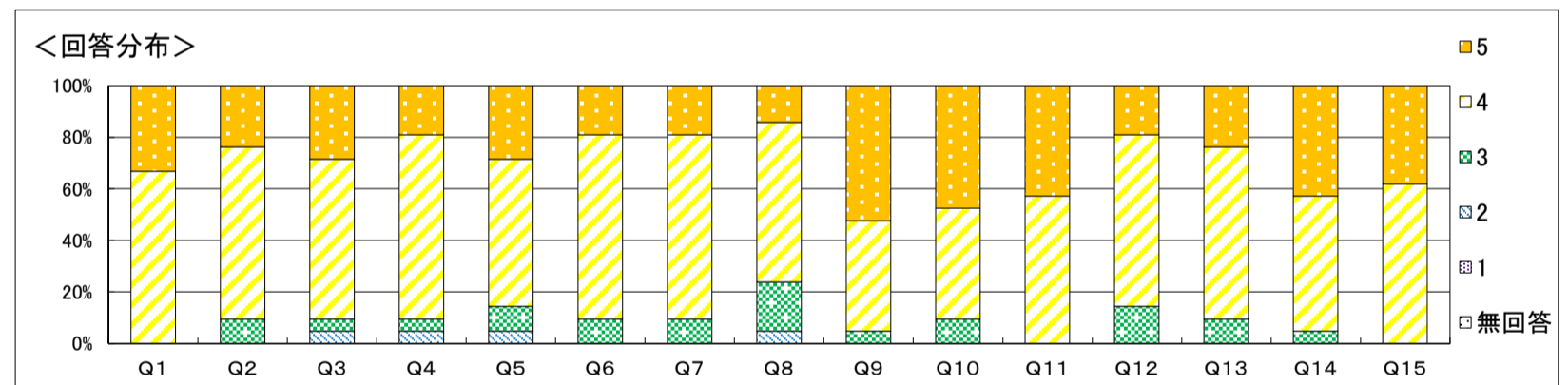
自由記載に関するコメント
 授業の内容が、今後、妊産褥婦への保健指導に活かせるものだったとのコメントがあり、科目の目的にあった授業であったと考える。

結果全体に対するコメント
 「授業に積極的に取り組み」、「新たな知見や考えを持てた」との評価が高かったことは、授業計画(時間、内容、方法)が有効であったと考える。

科目名	(500007) 4000072F11200500 助産女性学		
学科	助産研究科	履修者数	21人
学年	基礎1年・教育1年	回収数	21人
必修・選択の別	基礎必修・教育選択	回収率	100.0%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	7	14	0	0	-	0	4.3	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	5	14	2	0	-	0	4.1	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	6	13	1	1	-	0	4.1	4.4
4. 授業の進行は適切だった	4	15	1	1	-	0	4.0	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	6	12	2	1	-	0	4.1	4.3
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	4	15	2	0	-	0	4.1	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	4	15	2	0	-	0	4.1	4.3
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	3	13	4	1	-	0	3.9	4.2
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	11	9	1	0	-	0	4.5	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	10	9	2	0	-	0	4.4	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	9	12	0	0	-	0	4.4	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	4	14	3	0	-	0	4.0	4.3
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	5	14	2	0	-	0	4.1	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	9	11	1	0	-	0	4.4	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	8	13	0	0	-	0	4.4	4.3



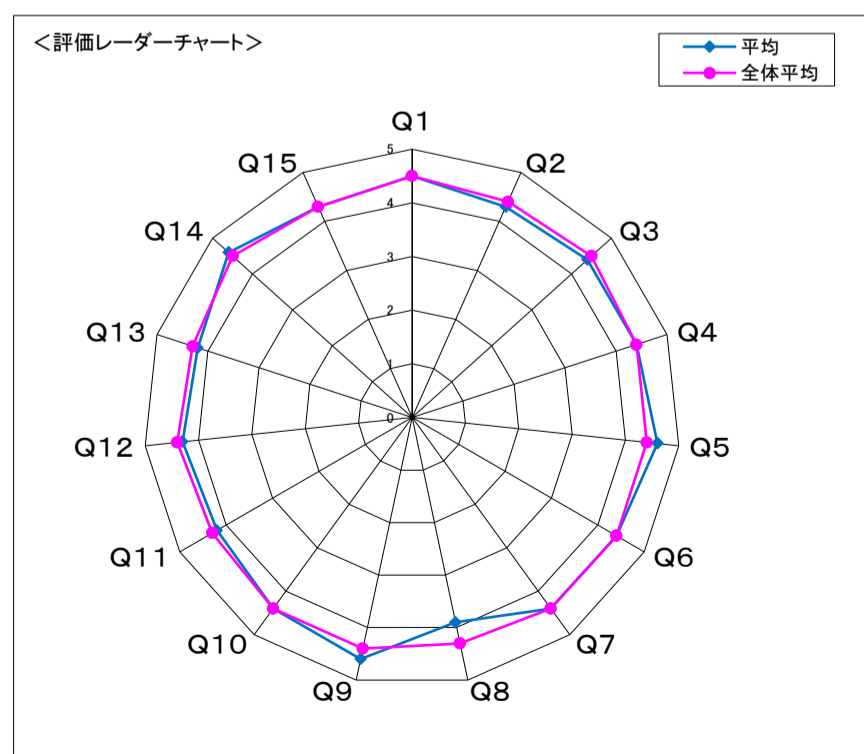
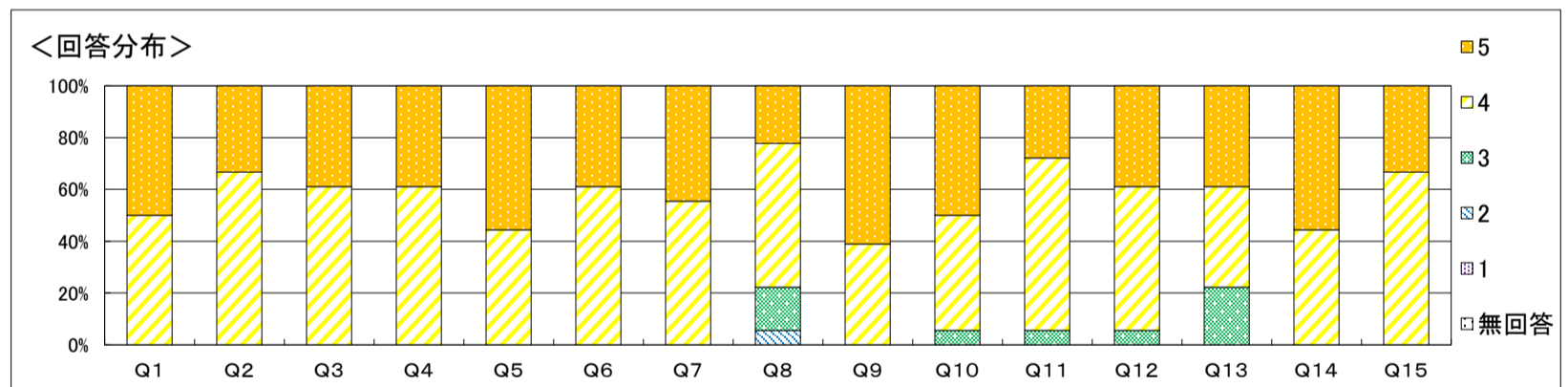
自由記載に関するコメント
 見やすい教材の提供方法を考慮する。また、グループワーク等時間的に余裕を持たせるように工夫する。

結果全体に対するコメント
 全体平均を下回っている項目が多い。授業内容、構成、方略について次年度に向け、非常勤講師とも相談し、検討する。

科目名	(500020) 40000192F11200600 助産カウンセリング		
学科	助産研究科	履修者数	21人
学年	1	回収数	18人
必修・選択の別	必修	回収率	85.7%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	9	9	0	0	-	0	4.5	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	6	12	0	0	-	0	4.3	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	7	11	0	0	-	0	4.4	4.5
4. 授業の進行は適切だった	7	11	0	0	-	0	4.4	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	10	8	0	0	-	0	4.6	4.4
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	7	11	0	0	-	0	4.4	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	8	10	0	0	-	0	4.4	4.4
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	4	10	3	1	-	0	3.9	4.3
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	11	7	0	0	-	0	4.6	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	9	8	1	0	-	0	4.4	4.4
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	5	12	1	0	-	0	4.2	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	7	10	1	0	-	0	4.3	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	7	7	4	0	-	0	4.2	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	10	8	0	0	-	0	4.6	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	6	12	0	0	-	0	4.3	4.3



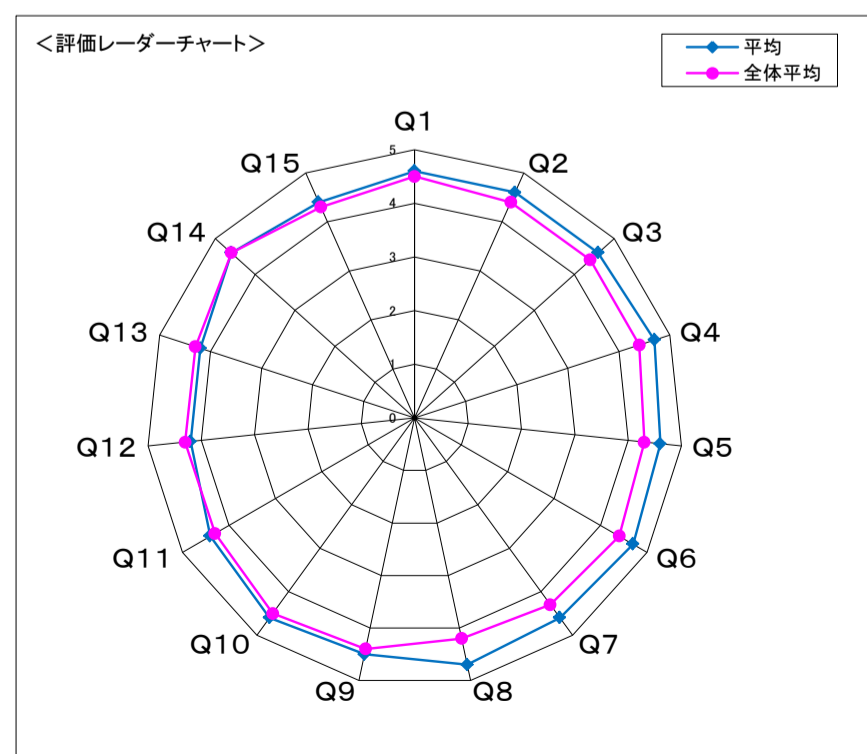
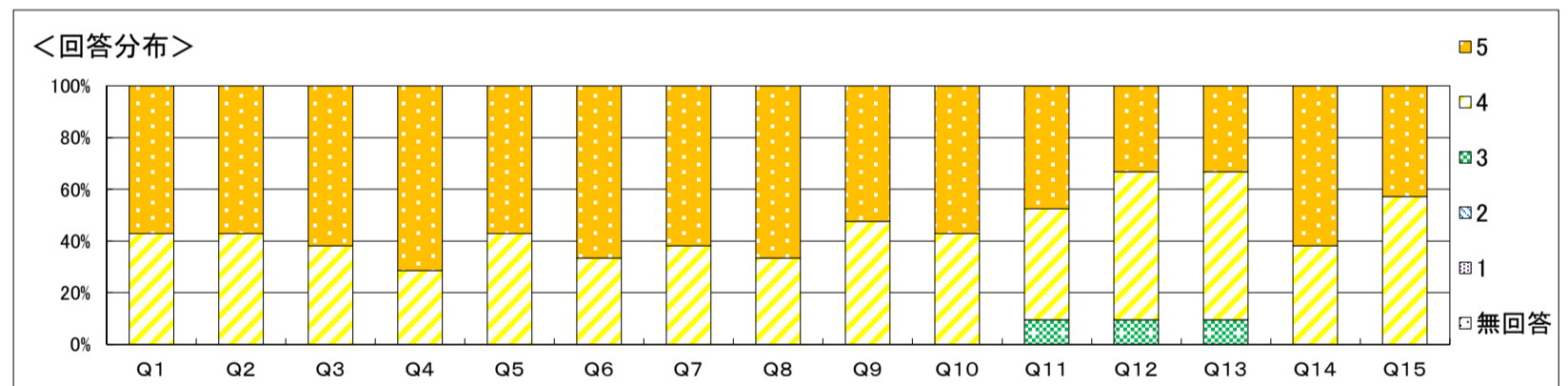
自由記載に関するコメント
 教科書以外の配布資料について高評価を得た一方、授業に余裕のあるタイミングでの配布希望があった。今後、院生が十分に予習ができるよう資料準備、配布時期を考慮したい。院生に求めるレポートをはじめとした提出物の適切な量についても検討したい。

結果全体に対するコメント
 Q8以外のすべての項目が平均4点台と高評価。自分自身のコミュニケーションの傾向を知り、自分自身が将来どのような人間関係を築ける人間として成長していきたいのか、真剣に取り組んでいた。また、専門職業人としての対象へのかわりについても深く考察する機会となっていた。

科目名	(500008) 4000082F11200700 健康教育論 I		
学科	助産研究科	履修者数	21人
学年	基礎1年・教育1年	回収数	21人
必修・選択の別	基礎必修・教育必修	回収率	100.0%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	12	9	0	0	-	0	4.6	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	12	9	0	0	-	0	4.6	4.4
3. 授業の時間数は適当だった	13	8	0	0	-	0	4.6	4.4
4. 授業の進行は適切だった	15	6	0	0	-	0	4.7	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	12	9	0	0	-	0	4.6	4.3
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	14	7	0	0	-	0	4.7	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	13	8	0	0	-	0	4.6	4.3
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	14	7	0	0	-	0	4.7	4.2
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	11	10	0	0	-	0	4.5	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	12	9	0	0	-	0	4.6	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	10	9	2	0	-	0	4.4	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	7	12	2	0	-	0	4.2	4.3
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	7	12	2	0	-	0	4.2	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	13	8	0	0	-	0	4.6	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	9	12	0	0	-	0	4.4	4.3



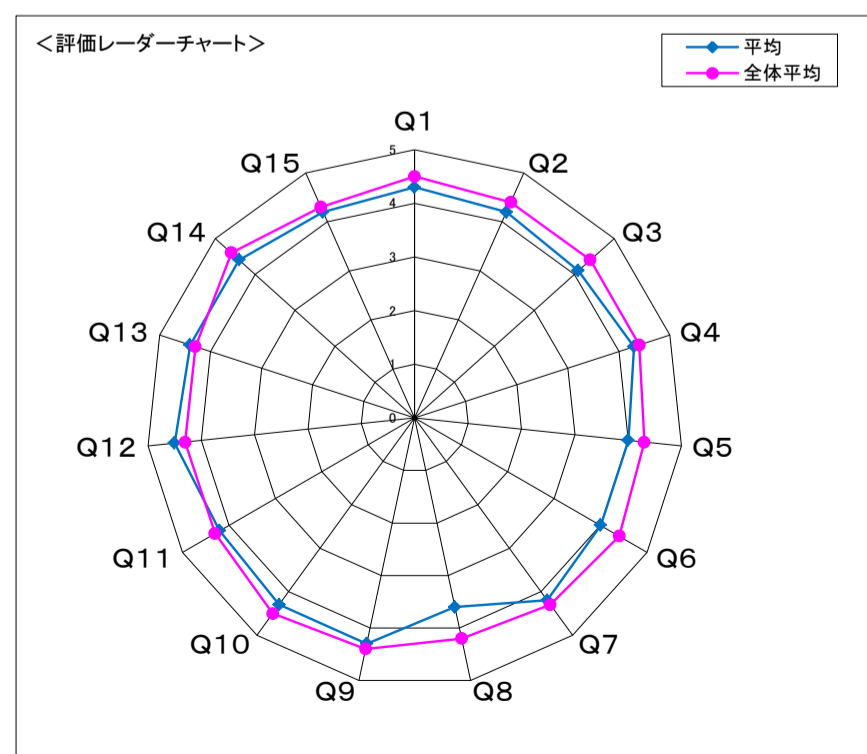
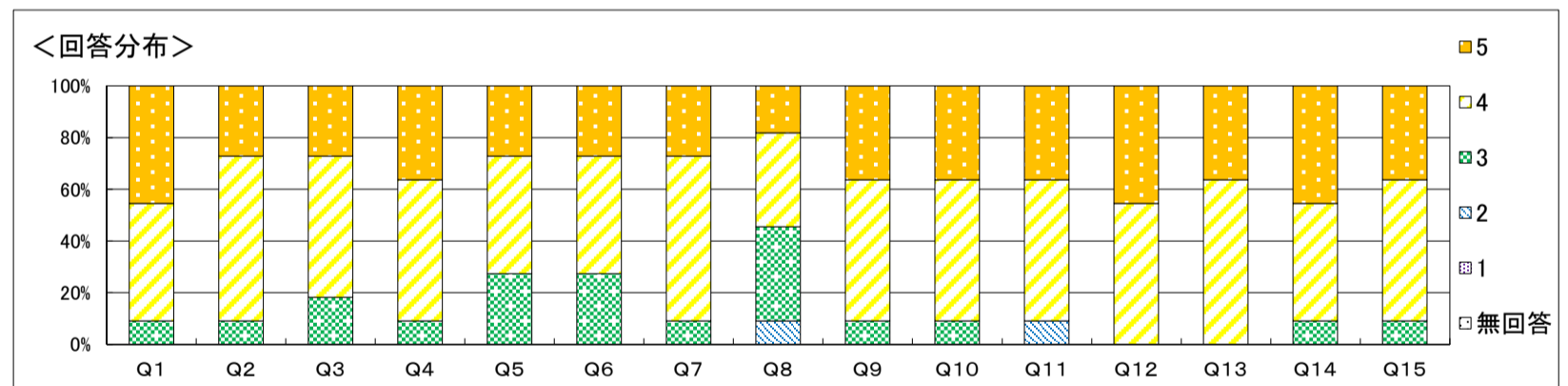
自由記載に関するコメント
 資料・参考文献については、出来る限りシラバスと授業中に紹介します。あとは、各自で興味のある事に関する文献を検索してみることも勉強になると思います。

結果全体に対するコメント
 項目の12、13を除いて、全て全体平均を上回っていることから、次年度も3人の教員で連携して、検討を加えながら授業を展開していく。

科目名	(500009) 4000092F11200800 健康教育論Ⅱ		
学科	助産研究科	履修者数	21人
学年	基礎2年	回収数	11人
必修・選択の別	基礎必修	回収率	52.3%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	5	5	1	0	-	0	4.3	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	3	7	1	0	-	0	4.2	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	3	6	2	0	-	0	4.1	4.4
4. 授業の進行は適切だった	4	6	1	0	-	0	4.3	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	3	5	3	0	-	0	4.0	4.3
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	3	5	3	0	-	0	4.0	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	3	7	1	0	-	0	4.2	4.3
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	2	4	4	1	-	0	3.6	4.2
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	4	6	1	0	-	0	4.3	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	4	6	1	0	-	0	4.3	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	4	6	0	1	-	0	4.2	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	5	6	0	0	-	0	4.5	4.3
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	4	7	0	0	-	0	4.4	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	5	5	1	0	-	0	4.4	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	4	6	1	0	-	0	4.2	4.3



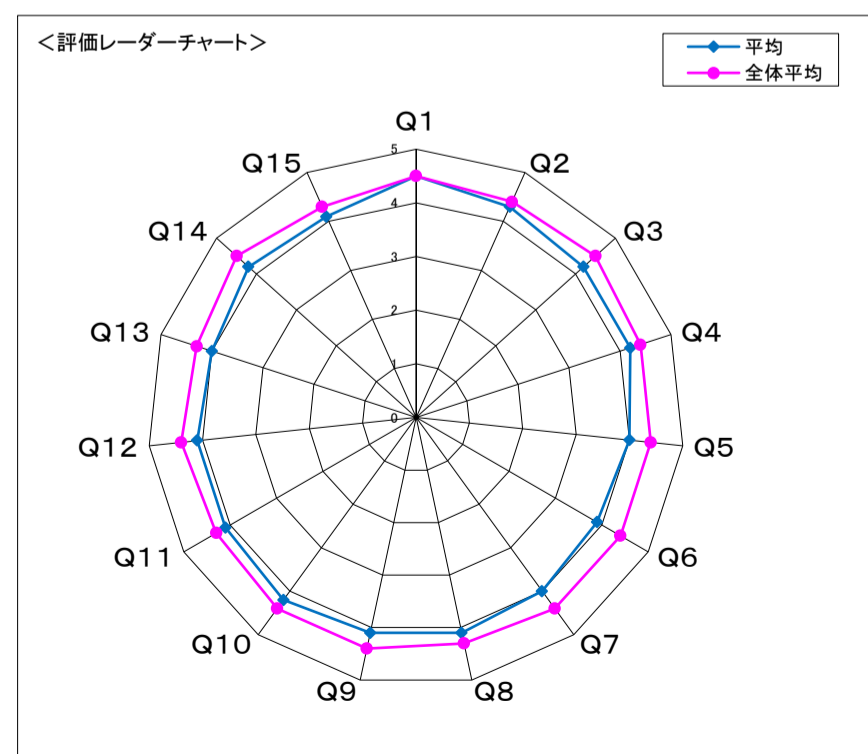
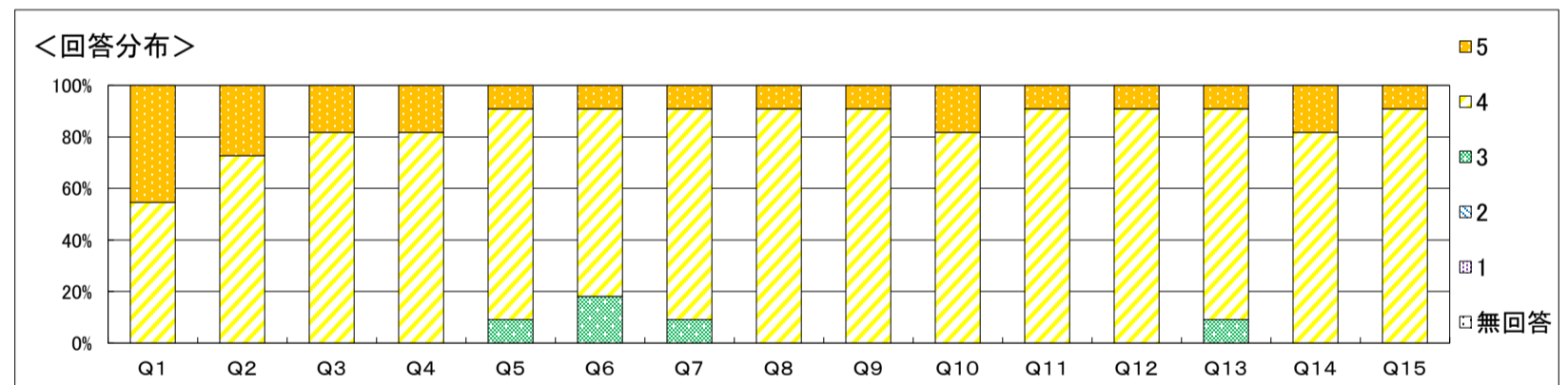
自由記載に関するコメント
 発表会終了後の修正をきちんとしていただき、とても良いものができたと思います。教員として、発表会後の修正は求めていなかったのですが、修正することを前提とした発表会とし提出期限を考えたらよかったですね。

結果全体に対するコメント
 Web両親学級は、学生も初めての体験であり、どのようなものを作ったら良いのか戸惑いも多かった。Web両親学級を見てくださった妊婦さんや子育て中の対象者さんの評価がわからないことが、学生の達成感につながらなかったと思われる。視聴回数累計は3か月で2100回以上あり、助産学生として社会貢献できたのではないかと判断する。

科目名	(500021) 40000202F11200900 助産研究法		
学科	助産研究科	履修者数	21人
学年	1	回収数	11人
必修・選択の別	必修	回収率	52.4%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	5	6	0	0	-	0	4.5	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	3	8	0	0	-	0	4.3	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	2	9	0	0	-	0	4.2	4.5
4. 授業の進行は適切だった	2	9	0	0	-	0	4.2	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	1	9	1	0	-	0	4.0	4.4
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	1	8	2	0	-	0	3.9	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	1	9	1	0	-	0	4.0	4.4
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	1	10	0	0	-	0	4.1	4.3
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	1	10	0	0	-	0	4.1	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	2	9	0	0	-	0	4.2	4.4
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	1	10	0	0	-	0	4.1	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	1	10	0	0	-	0	4.1	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	1	9	1	0	-	0	4.0	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	2	9	0	0	-	0	4.2	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	1	10	0	0	-	0	4.1	4.3



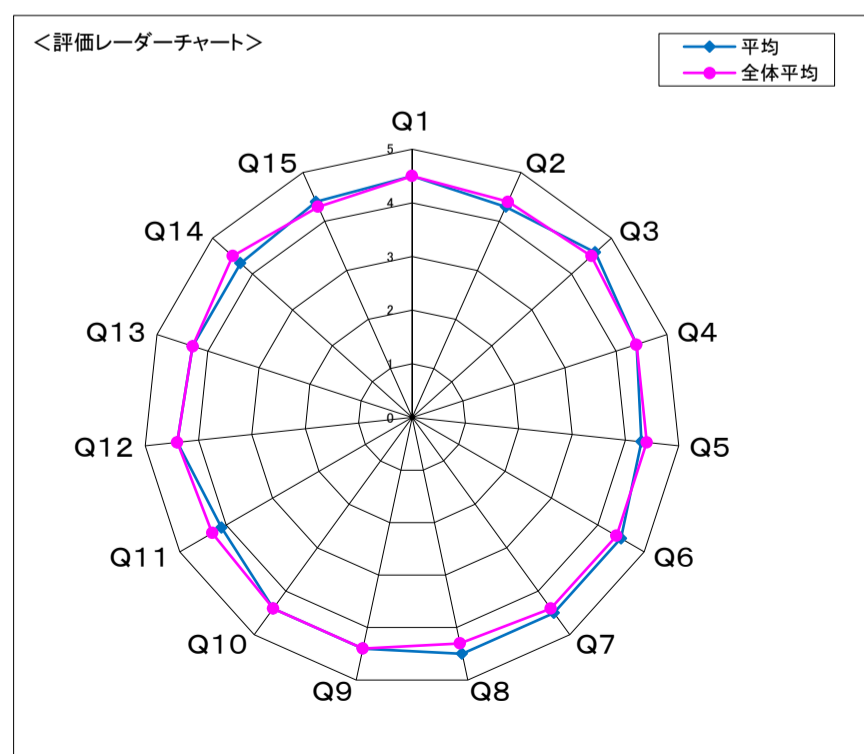
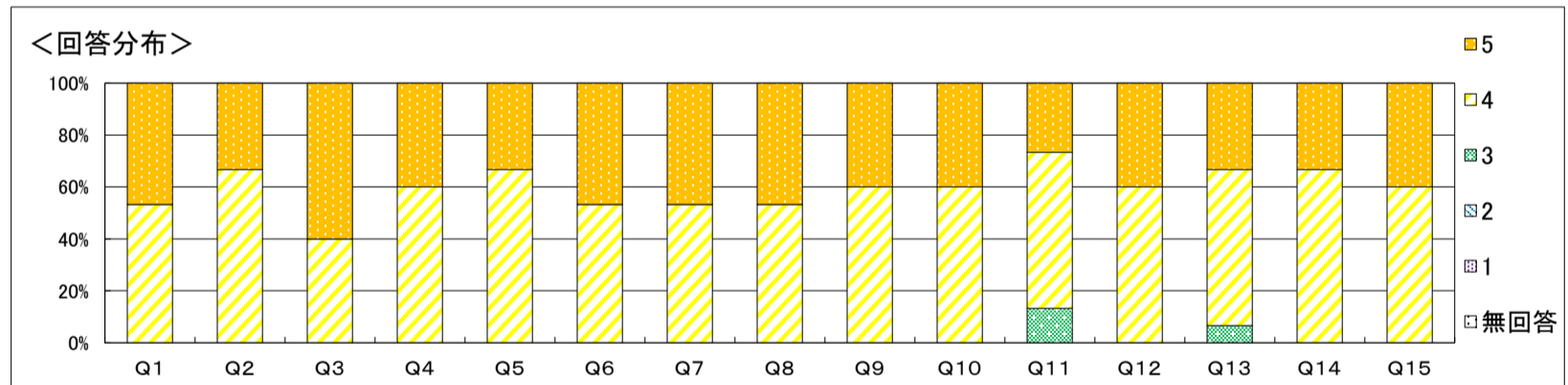
自由記載に関するコメント
 授業形態については、対面授業を基本に行いたいと考えているが、社会状況、特に新型コロナウイルスの感染状況に合わせた方法を考慮していく。

結果全体に対するコメント
 授業方法、内容説明を明確にし、そのことに伴う効果的な視聴覚教材について再検討する必要がある。

科目名	(500022) 40000212F11300100 助産管理論 I		
学科	助産研究科	履修者数	21人
学年	1	回収数	15人
必修・選択の別	必修	回収率	71.4%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	7	8	0	0	-	0	4.5	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	5	10	0	0	-	0	4.3	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	9	6	0	0	-	0	4.6	4.5
4. 授業の進行は適切だった	6	9	0	0	-	0	4.4	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	5	10	0	0	-	0	4.3	4.4
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	7	8	0	0	-	0	4.5	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	7	8	0	0	-	0	4.5	4.4
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	7	8	0	0	-	0	4.5	4.3
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	6	9	0	0	-	0	4.4	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	6	9	0	0	-	0	4.4	4.4
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	4	9	2	0	-	0	4.1	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	6	9	0	0	-	0	4.4	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	5	9	1	0	-	0	4.3	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	5	10	0	0	-	0	4.3	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	6	9	0	0	-	0	4.4	4.3



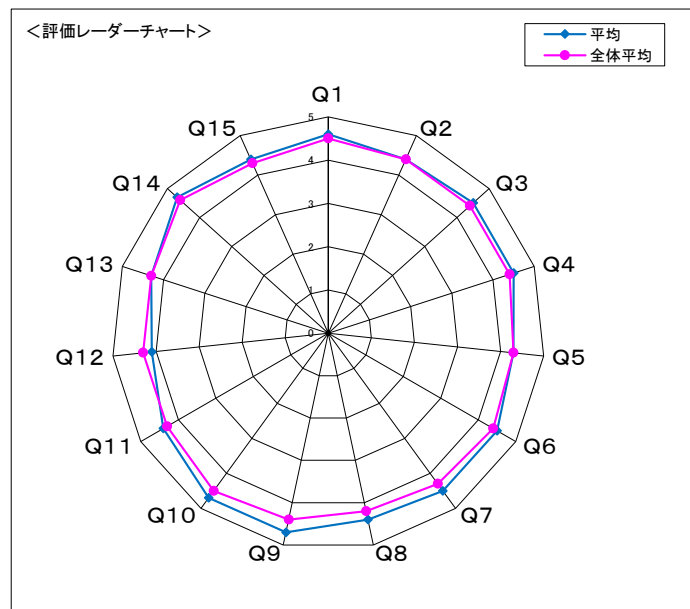
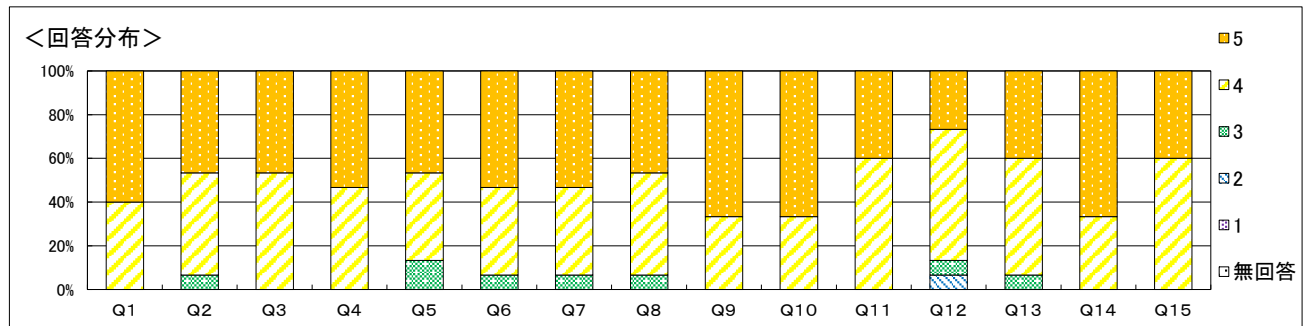
自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント
 Q8について、レポート課題が臨床実習で得られる情報をもとにした内容であったが、臨床で実習がストップした段階で臨床に出向かなくても書ける内容に変更した。早期に対応したため、戸惑うことなく課題に取り組めたと思われる。

科目名	(500011) 4000102F11300200 助産管理論Ⅱ		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎2年・教育1年	回収数	15人
必修・選択の別	基礎必修・教育必修	回収率	78.9%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	9	6	0	0	-	0	4.6	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	7	7	1	0	-	0	4.4	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	7	8	0	0	-	0	4.5	4.4
4. 授業の進行は適切だった	8	7	0	0	-	0	4.5	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	7	6	2	0	-	0	4.3	4.3
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	8	6	1	0	-	0	4.5	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	8	6	1	0	-	0	4.5	4.3
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	7	7	1	0	-	0	4.4	4.2
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	10	5	0	0	-	0	4.7	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	10	5	0	0	-	0	4.7	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	6	9	0	0	-	0	4.4	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	4	9	1	1	-	0	4.1	4.3
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	6	8	1	0	-	0	4.3	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	10	5	0	0	-	0	4.7	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	6	9	0	0	-	0	4.4	4.3



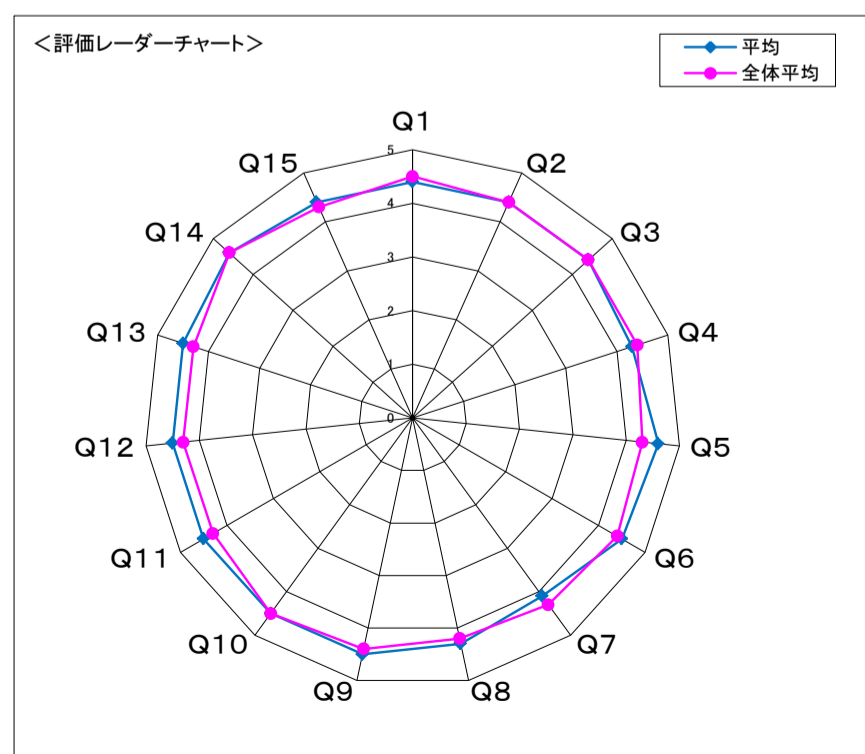
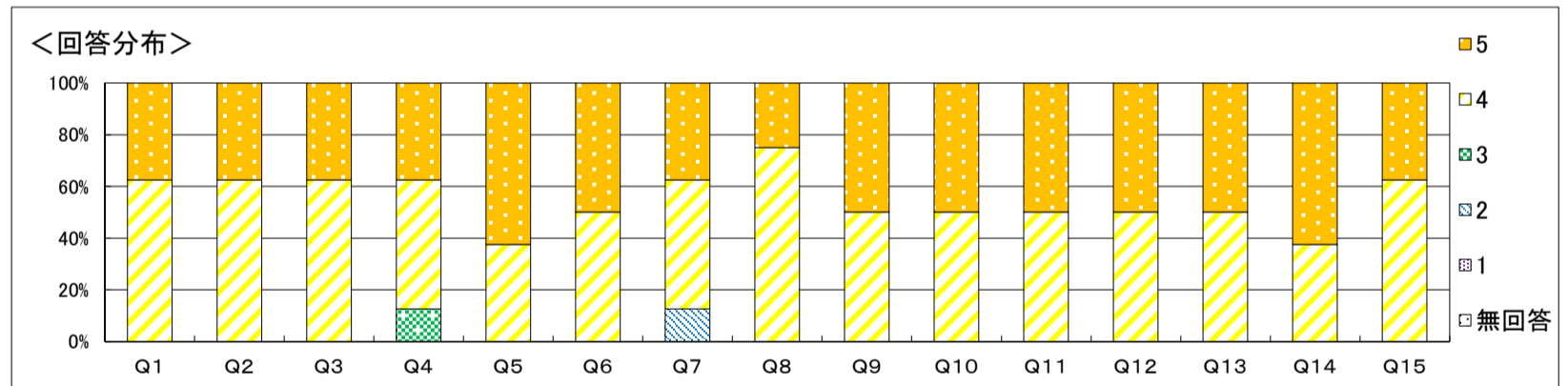
自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント

科目名	(500012) 4000112F11300300 助産師教育論		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎2年	回収数	8人
必修・選択の別	基礎必修	回収率	42.1%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	3	5	0	0	-	0	4.4	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	3	5	0	0	-	0	4.4	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	3	5	0	0	-	0	4.4	4.4
4. 授業の進行は適切だった	3	4	1	0	-	0	4.3	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	5	3	0	0	-	0	4.6	4.3
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	4	4	0	0	-	0	4.5	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	3	4	0	1	-	0	4.1	4.3
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	2	6	0	0	-	0	4.3	4.2
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	4	4	0	0	-	0	4.5	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	4	4	0	0	-	0	4.5	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	4	4	0	0	-	0	4.5	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	4	4	0	0	-	0	4.5	4.3
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	4	4	0	0	-	0	4.5	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	5	3	0	0	-	0	4.6	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	3	5	0	0	-	0	4.4	4.3



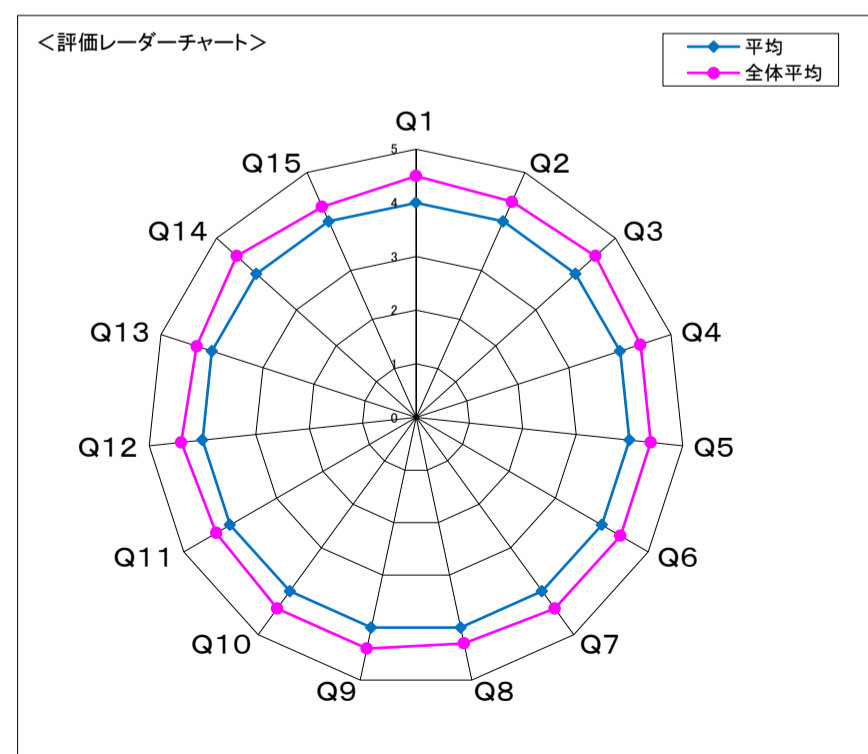
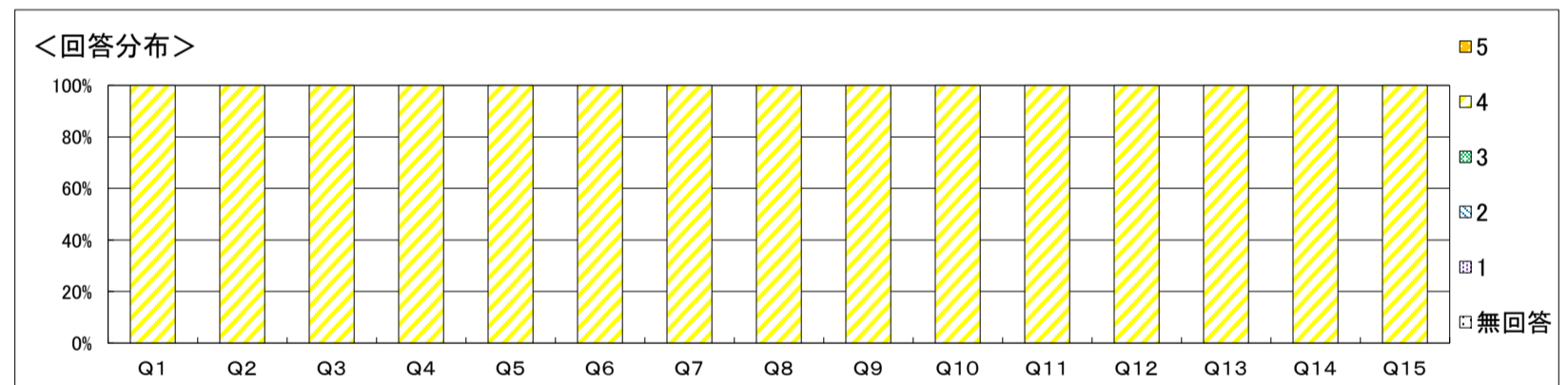
自由記載に関するコメント
 *レジュメの印刷は講師の先生に直接、お願いしてください。講師の先生のお考えがあると思います。

結果全体に対するコメント
 * 全体平均より0.1から0.3ポイント高い項目が8項目。全体平均と同じポイントが4項目。0.1~0.2ポイント低い項目が3項目で、前年に比べ、高得点であった。
 * アンケート回収率が42.1%と半数以下であった。

科目名	(500023) 40000222F11300500 母子保健行政・財政論		
学科	助産研究科	履修者数	21人
学年	1	回収数	1人
必修・選択の別	必修	回収率	4.8%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	0	1	0	0	-	0	4.0	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	0	1	0	0	-	0	4.0	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	0	1	0	0	-	0	4.0	4.5
4. 授業の進行は適切だった	0	1	0	0	-	0	4.0	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	0	1	0	0	-	0	4.0	4.4
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	0	1	0	0	-	0	4.0	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	0	1	0	0	-	0	4.0	4.4
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	0	1	0	0	-	0	4.0	4.3
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	0	1	0	0	-	0	4.0	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	0	1	0	0	-	0	4.0	4.4
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	0	1	0	0	-	0	4.0	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	0	1	0	0	-	0	4.0	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	0	1	0	0	-	0	4.0	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	0	1	0	0	-	0	4.0	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	0	1	0	0	-	0	4.0	4.3



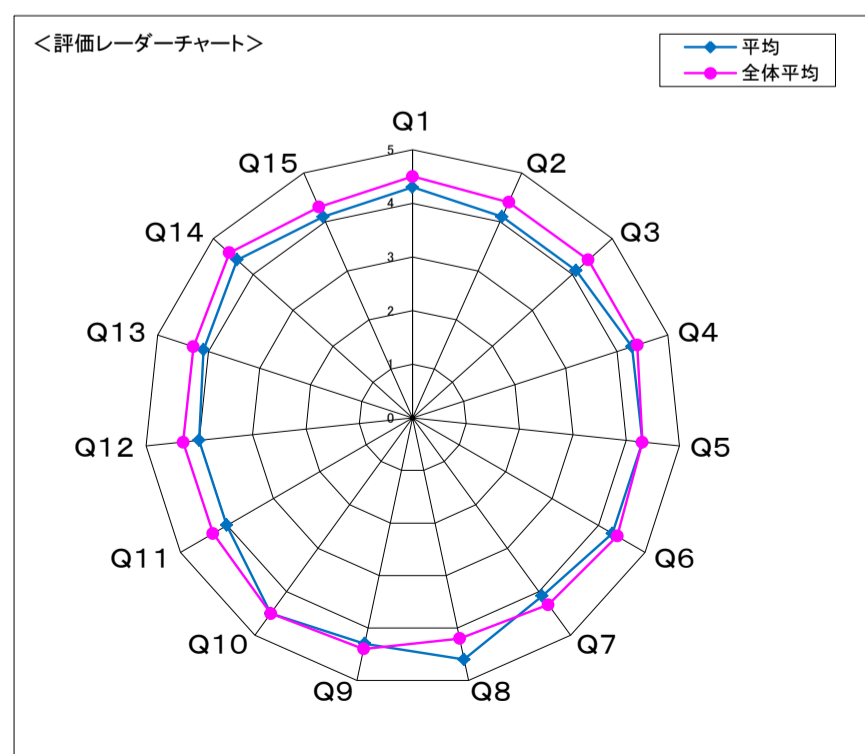
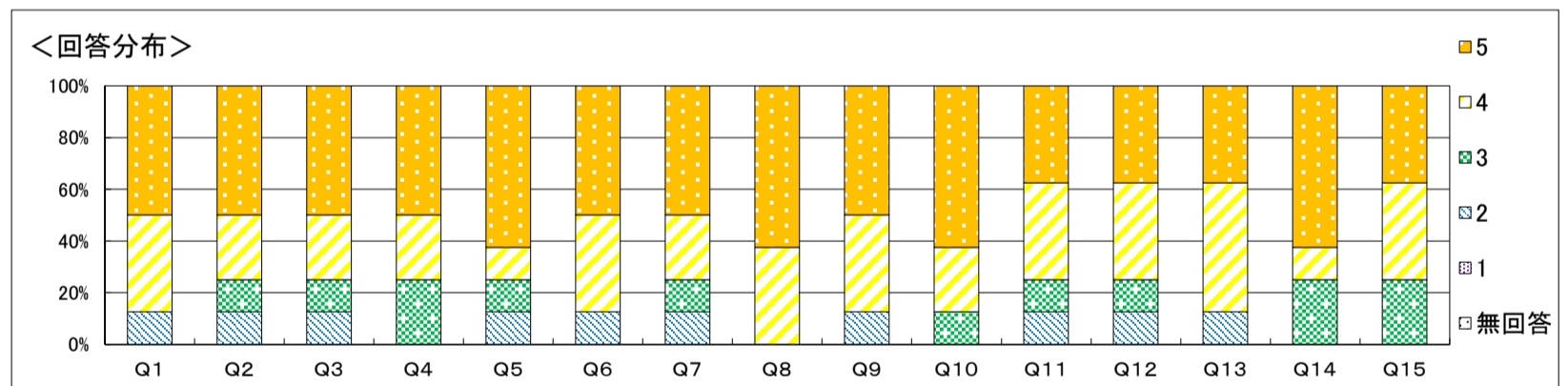
自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント

科目名	(500013) 4000122F11300600 母子保健活動論(疫学・統計を含む)		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎2年・教育2年	回収数	8人
必修・選択の別	基礎必修・教育選択	回収率	42.1%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	4	3	0	1	-	0	4.3	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	4	2	1	1	-	0	4.1	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	4	2	1	1	-	0	4.1	4.4
4. 授業の進行は適切だった	4	2	2	0	-	0	4.3	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	5	1	1	1	-	0	4.3	4.3
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	4	3	0	1	-	0	4.3	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	4	2	1	1	-	0	4.1	4.3
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	5	3	0	0	-	0	4.6	4.2
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	4	3	0	1	-	0	4.3	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	5	2	1	0	-	0	4.5	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	3	3	1	1	-	0	4.0	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	3	3	1	1	-	0	4.0	4.3
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	3	4	0	1	-	0	4.1	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	5	1	2	0	-	0	4.4	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	3	3	2	0	-	0	4.1	4.3



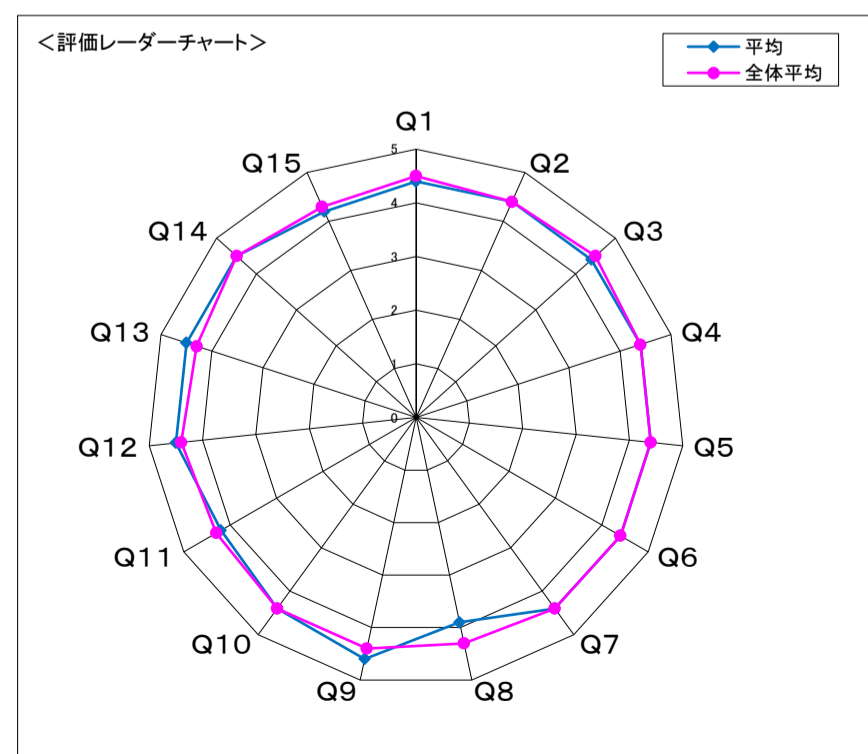
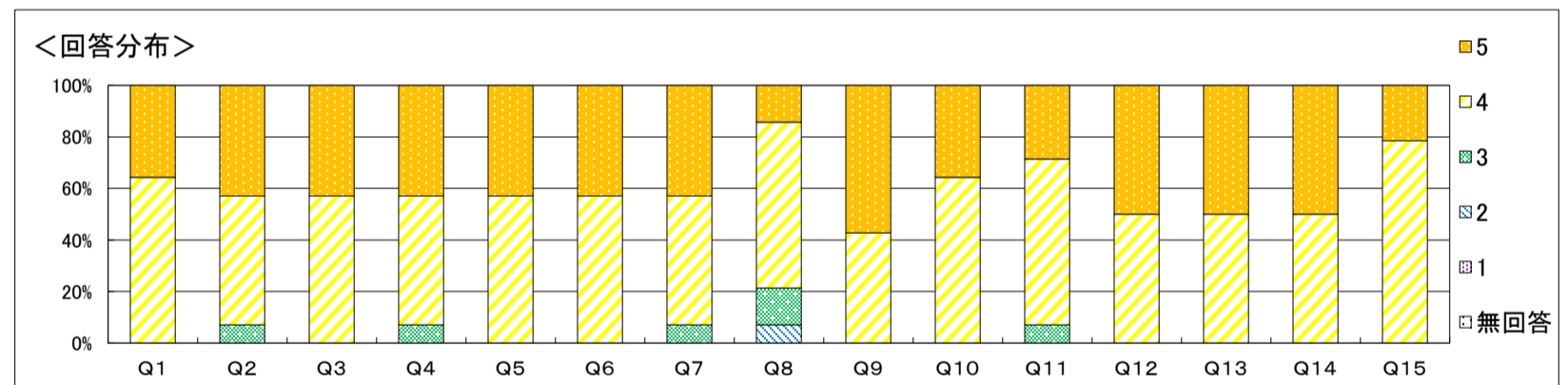
自由記載に関するコメント
 統計処理の演習では、統計ソフトの理解と操作の習熟に個人差があることから、今後は、サブ教員を入れるなど院生のサポートができる方法を検討したい。

結果全体に対するコメント
 集中講義による授業であることから、授業時間中の理解が遅れると、その後の展開についていきにくい状況がある。今後は、授業の理解を促進できる事前学習について、学生に具体的に提示していきたい。

科目名	(500024) 40000232F12100100 マタニティサイクル助産ケア I		
学科	助産研究科	履修者数	21人
学年	1	回収数	14人
必修・選択の別	必修	回収率	66.7%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	5	9	0	0	-	0	4.4	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	6	7	1	0	-	0	4.4	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	6	8	0	0	-	0	4.4	4.5
4. 授業の進行は適切だった	6	7	1	0	-	0	4.4	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	6	8	0	0	-	0	4.4	4.4
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	6	8	0	0	-	0	4.4	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	6	7	1	0	-	0	4.4	4.4
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	2	9	2	1	-	0	3.9	4.3
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	8	6	0	0	-	0	4.6	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	5	9	0	0	-	0	4.4	4.4
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	4	9	1	0	-	0	4.2	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	7	7	0	0	-	0	4.5	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	7	7	0	0	-	0	4.5	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	7	7	0	0	-	0	4.5	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	3	11	0	0	-	0	4.2	4.3



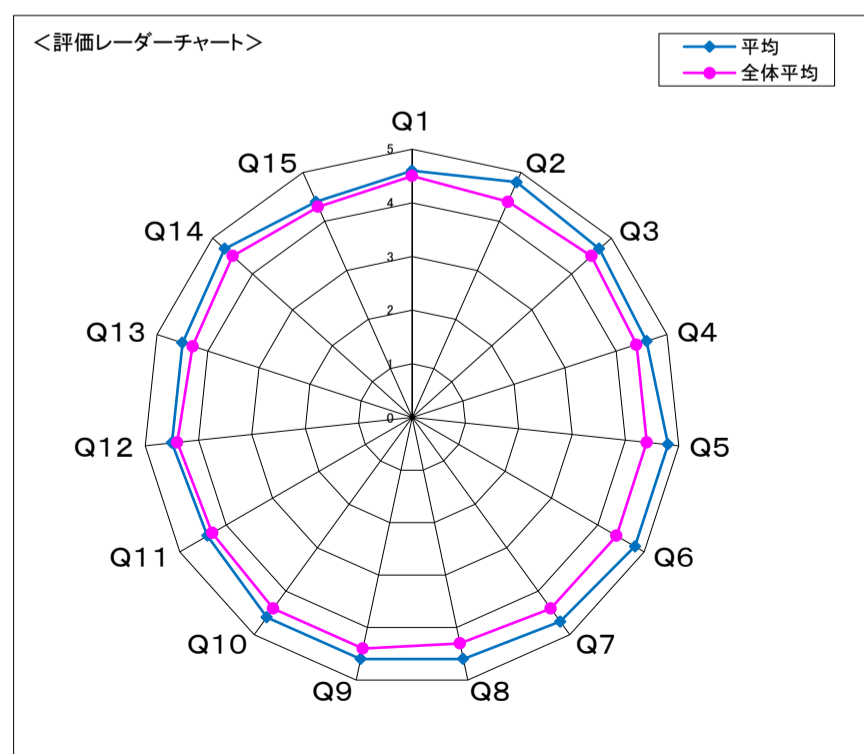
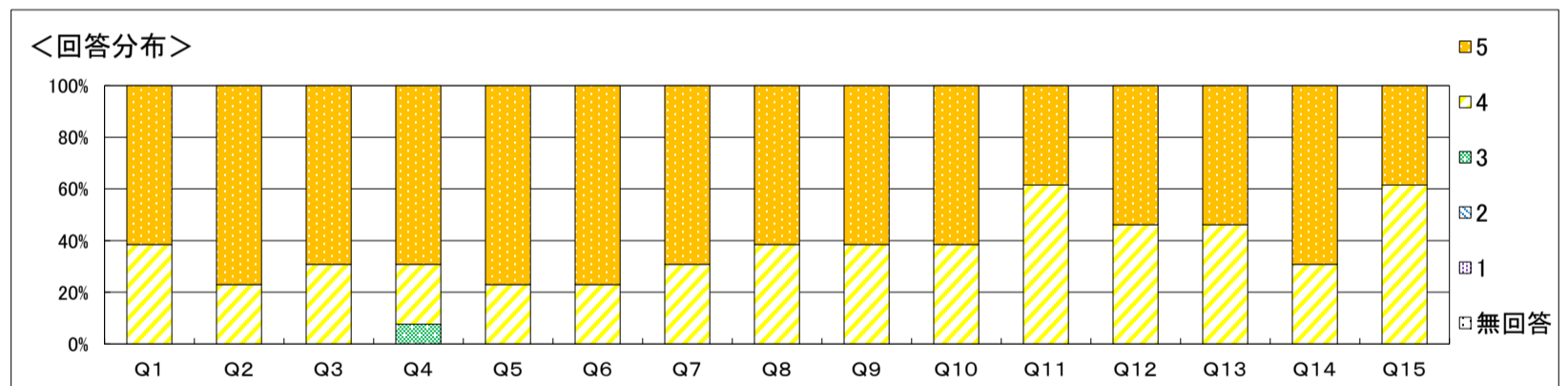
自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント
 全体的には、ほとんどの項目が平均4点台であり、院生評価は高かった。授業構成をはじめ授業・演習の工夫が効果的であった。

科目名	(500025) 40000242F12100200 マタニティサイクル助産ケアⅡ		
学科	助産研究科	履修者数	21人
学年	1	回収数	13人
必修・選択の別	必修	回収率	61.9%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	8	5	0	0	-	0	4.6	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	10	3	0	0	-	0	4.8	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	9	4	0	0	-	0	4.7	4.5
4. 授業の進行は適切だった	9	3	1	0	-	0	4.6	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	10	3	0	0	-	0	4.8	4.4
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	10	3	0	0	-	0	4.8	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	9	4	0	0	-	0	4.7	4.4
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	8	5	0	0	-	0	4.6	4.3
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	8	5	0	0	-	0	4.6	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	8	5	0	0	-	0	4.6	4.4
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	5	8	0	0	-	0	4.4	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	7	6	0	0	-	0	4.5	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	7	6	0	0	-	0	4.5	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	9	4	0	0	-	0	4.7	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	5	8	0	0	-	0	4.4	4.3



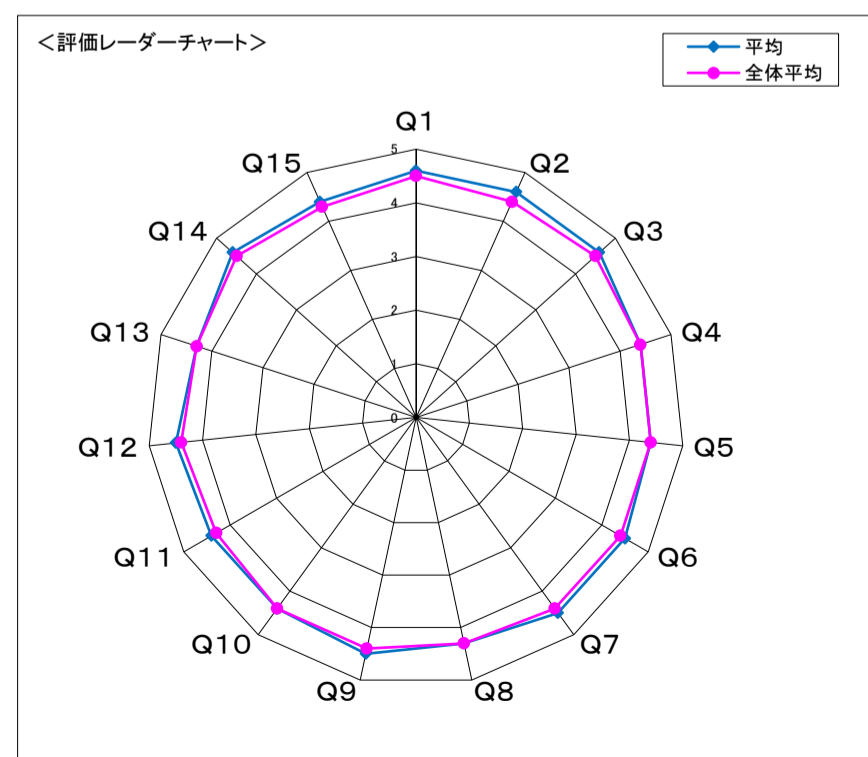
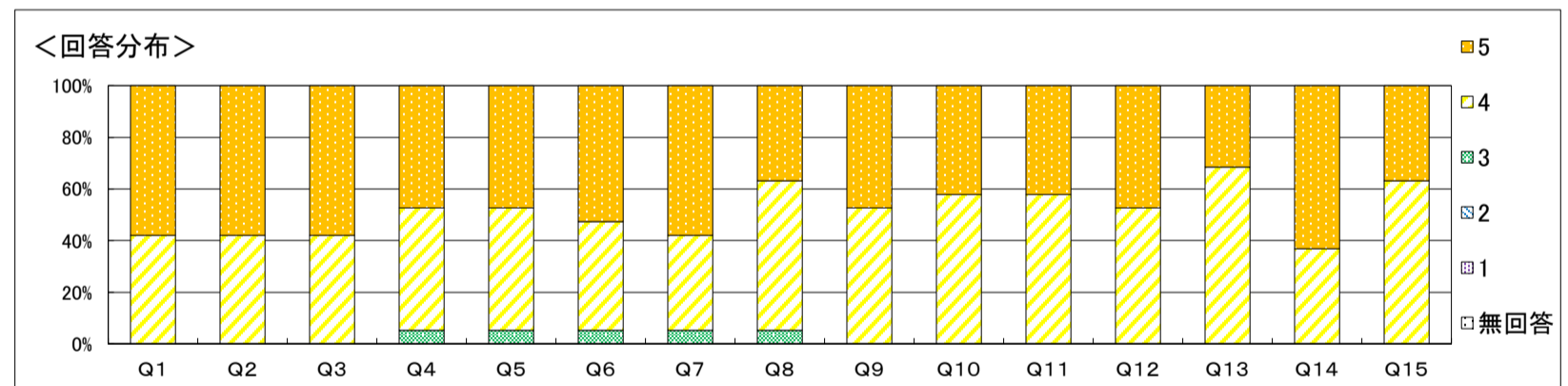
自由記載に関するコメント
 教員によって指導方法や内容が違うということについては、講義・演習内容の再確認をすると共に振り返りをして、今後このようなことがないように是正をはかっていきたいと思ひます。また、学生さん達の受け止め方として、色々な教員(助産師)の考え方やケア方法等をその根拠と共に学ぶ機会にしたいだけると良いと思ひます。

結果全体に対するコメント
 概ね「5」、「4」との回答であり、すべての項目の平均が全体平均を上回っている。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、視聴覚教材づくり(DVD等)に取り組んだことやzoomによる授業、対面授業開始と同時に演習を取り入れる等社会状況に応じた授業展開が行えたと思ひます。

科目名	(500026) 40000252F12100300 マタニティサイクル助産ケアⅢ		
学科	助産研究科	履修者数	21人
学年	1	回収数	19人
必修・選択の別	必修	回収率	90.5%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	11	8	0	0	-	0	4.6	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	11	8	0	0	-	0	4.6	4.4
3. 授業の時間数は適当だった	11	8	0	0	-	0	4.6	4.5
4. 授業の進行は適切だった	9	9	1	0	-	0	4.4	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	9	9	1	0	-	0	4.4	4.4
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	10	8	1	0	-	0	4.5	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	11	7	1	0	-	0	4.5	4.4
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	7	11	1	0	-	0	4.3	4.3
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	9	10	0	0	-	0	4.5	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	8	11	0	0	-	0	4.4	4.4
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	8	11	0	0	-	0	4.4	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	9	10	0	0	-	0	4.5	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	6	13	0	0	-	0	4.3	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	12	7	0	0	-	0	4.6	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	7	12	0	0	-	0	4.4	4.3



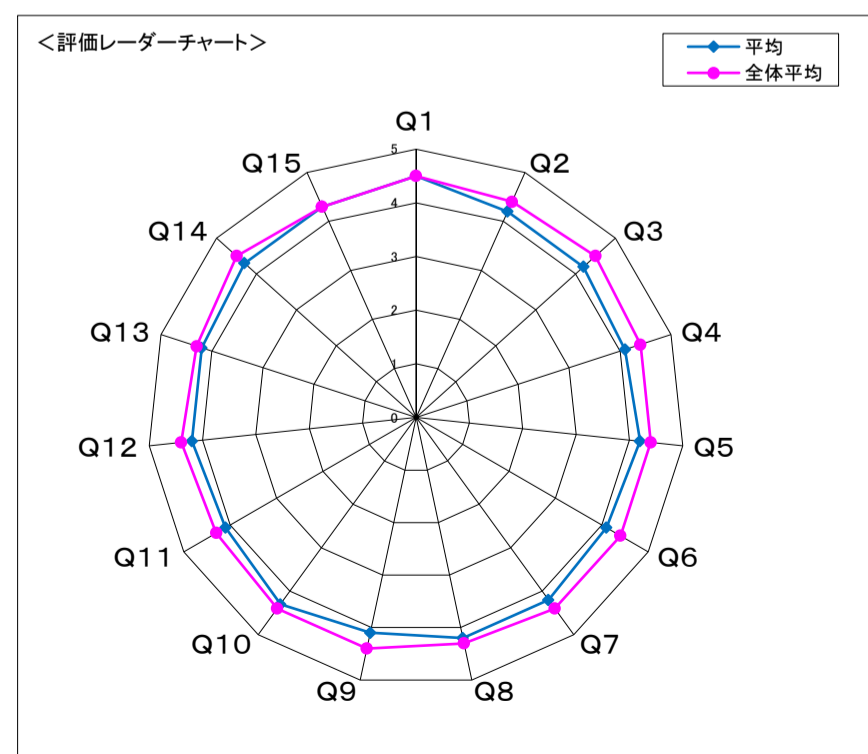
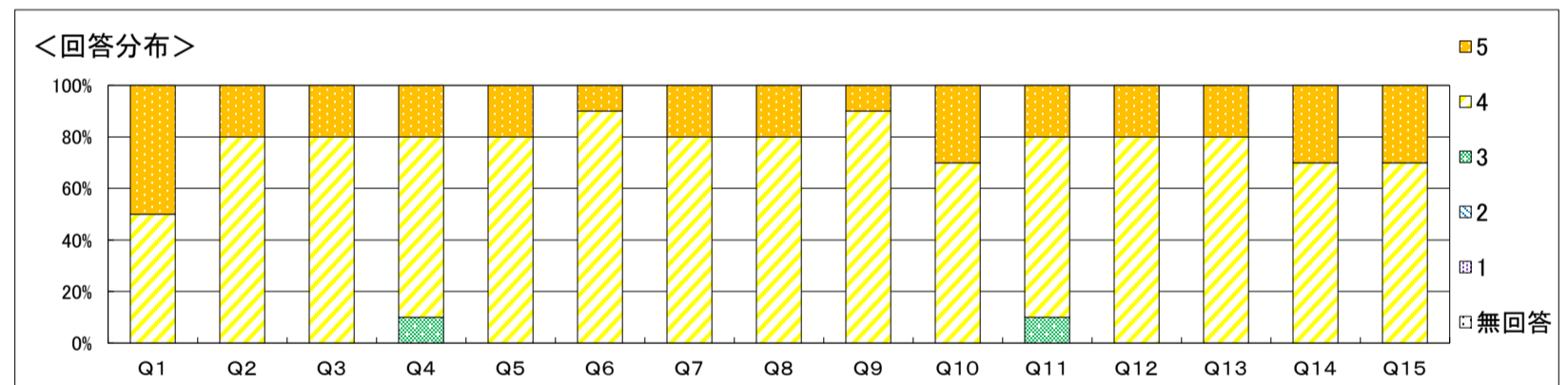
自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント
 演習以外は遠隔授業となってしまう、伝えきれなかった部分も多くあった。学生は全員、与えられた課題に積極的に取り組み、プレゼンや資料作りも予想を超えた出来栄であったと思う。

科目名	(500027) 40000262F12100400 ハイリスク助産学 I		
学科	助産研究科	履修者数	21人
学年	1	回収数	10人
必修・選択の別	必修	回収率	47.6%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	5	5	0	0	-	0	4.5	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	2	8	0	0	-	0	4.2	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	2	8	0	0	-	0	4.2	4.5
4. 授業の進行は適切だった	2	7	1	0	-	0	4.1	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	2	8	0	0	-	0	4.2	4.4
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	1	9	0	0	-	0	4.1	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	2	8	0	0	-	0	4.2	4.4
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	2	8	0	0	-	0	4.2	4.3
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	1	9	0	0	-	0	4.1	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	3	7	0	0	-	0	4.3	4.4
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	2	7	1	0	-	0	4.1	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	2	8	0	0	-	0	4.2	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	2	8	0	0	-	0	4.2	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	3	7	0	0	-	0	4.3	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	3	7	0	0	-	0	4.3	4.3



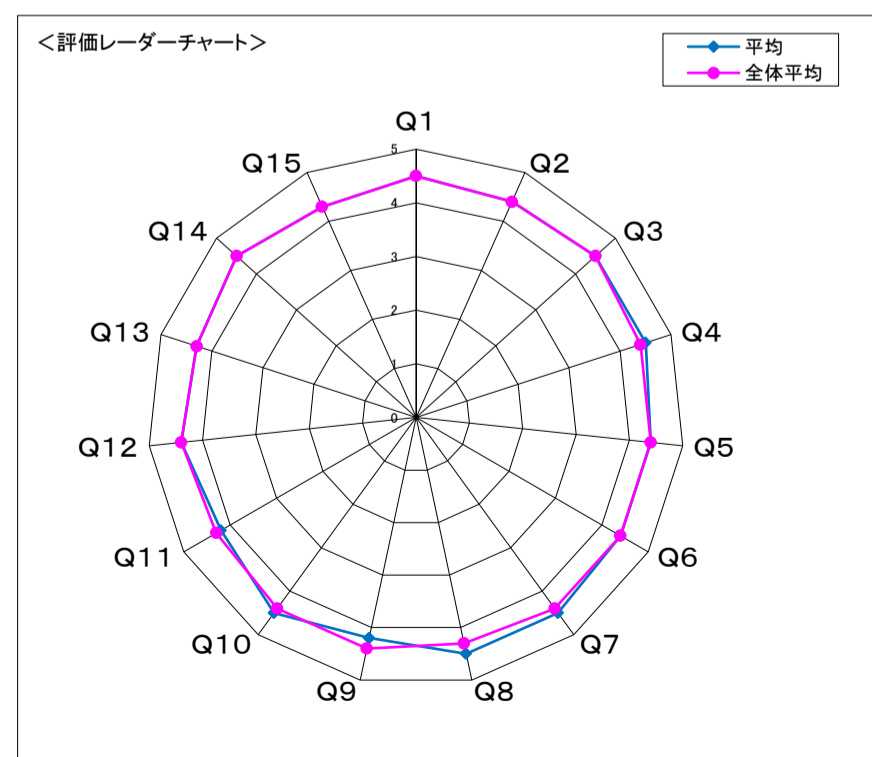
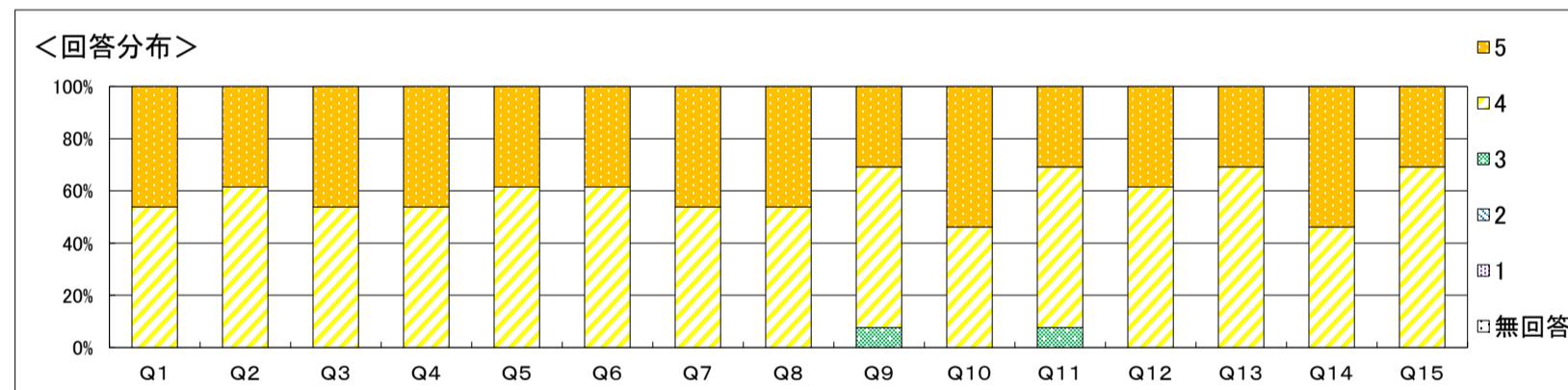
自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント
 ほぼ全ての項目において、全体平均よりはやや下回るが、概ね「5」、「4」の回答である。非常勤講師の講義が大半であることから、今後も密に連携をとりながら授業を構成していく。

科目名	(500028) 40000272F12100500 ハイリスク助産学Ⅱ		
学科	助産研究科	履修者数	21人
学年	1	回収数	13人
必修・選択の別	必修	回収率	61.9%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	6	7	0	0	-	0	4.5	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	5	8	0	0	-	0	4.4	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	6	7	0	0	-	0	4.5	4.5
4. 授業の進行は適切だった	6	7	0	0	-	0	4.5	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	5	8	0	0	-	0	4.4	4.4
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	5	8	0	0	-	0	4.4	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	6	7	0	0	-	0	4.5	4.4
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	6	7	0	0	-	0	4.5	4.3
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	4	8	1	0	-	0	4.2	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	7	6	0	0	-	0	4.5	4.4
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	4	8	1	0	-	0	4.2	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	5	8	0	0	-	0	4.4	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	4	9	0	0	-	0	4.3	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	7	6	0	0	-	0	4.5	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	4	9	0	0	-	0	4.3	4.3



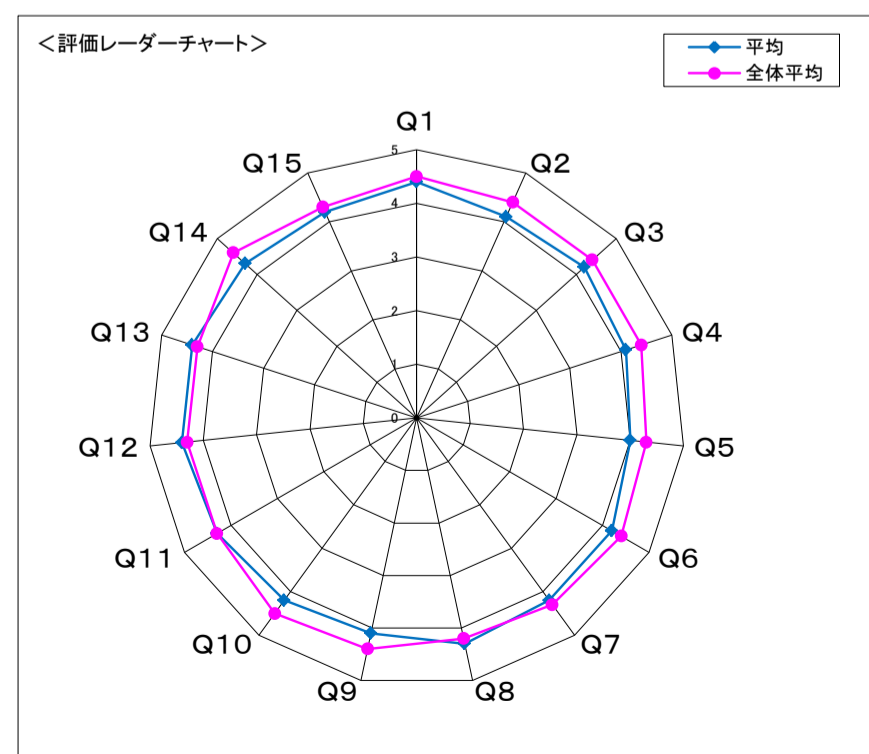
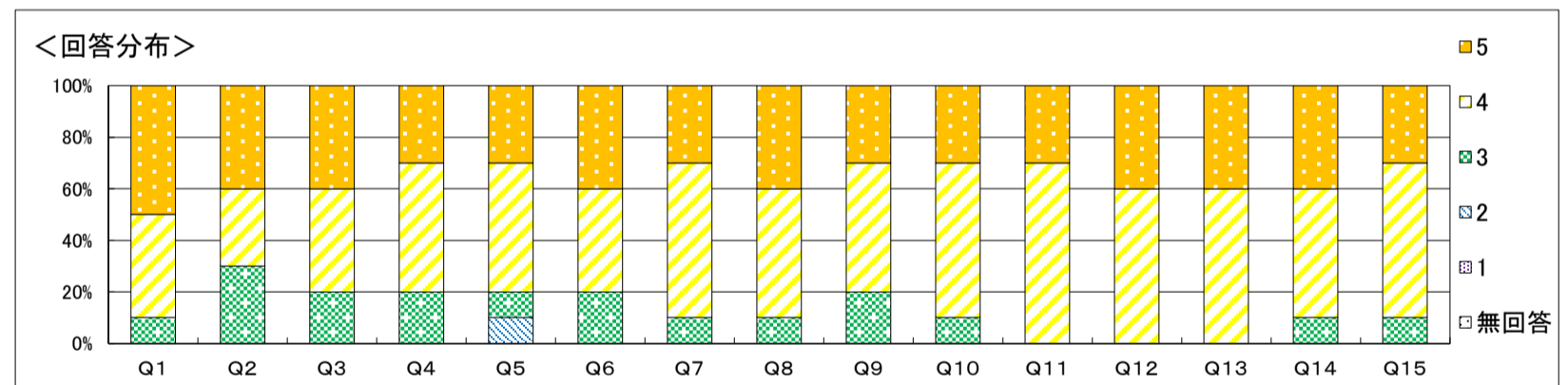
自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント
 NICUに勤務する医師や助産師、看護師から臨床に根付いた授業をしていただけた。わかりやすい説明をしていただけて、理解しやすかったと思う。

科目名	(500014) 4000132F12100600 ハイリスク助産演習		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎2年	回収数	10人
必修・選択の別	基礎必修	回収率	52.6%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	5	4	1	0	-	0	4.4	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	4	3	3	0	-	0	4.1	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	4	4	2	0	-	0	4.2	4.4
4. 授業の進行は適切だった	3	5	2	0	-	0	4.1	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	3	5	1	1	-	0	4.0	4.3
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	4	4	2	0	-	0	4.2	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	3	6	1	0	-	0	4.2	4.3
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	4	5	1	0	-	0	4.3	4.2
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	3	5	2	0	-	0	4.1	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	3	6	1	0	-	0	4.2	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	3	7	0	0	-	0	4.3	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	4	6	0	0	-	0	4.4	4.3
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	4	6	0	0	-	0	4.4	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	4	5	1	0	-	0	4.3	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	3	6	1	0	-	0	4.2	4.3



自由記載に関するコメント

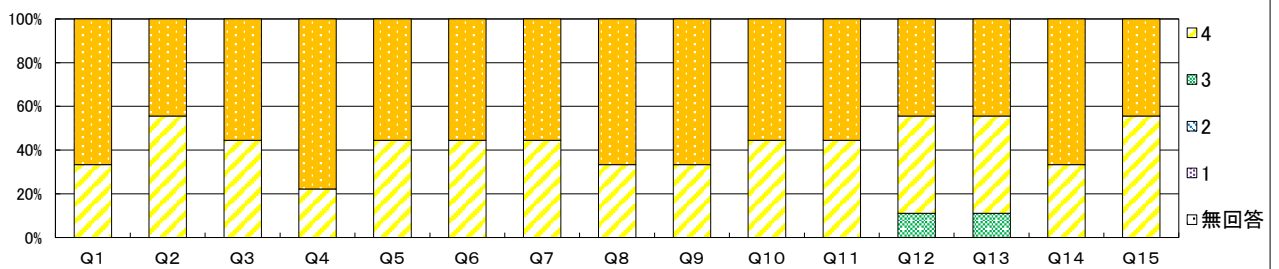
結果全体に対するコメント
 実際の演習は、病棟に伺い新生児を受け持たせていただくが、学内演習となったため興味がわかなかったと思われる。しかしながら、NCPRやNICU入院中の家族に対してのケアを考察したりなど4月から助産師として働く上で、大切なスキルを学べるような演習であったと思う。

科目名	(500015) 4000142F12100700 独立助産実践概論		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎2年・教育1年	回収数	9人
必修・選択の別	基礎必修・教育必修	回収率	47.4%

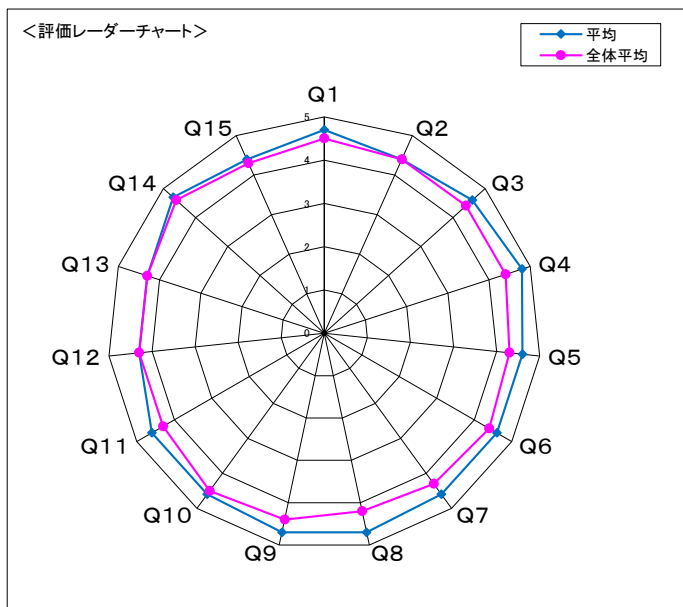
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	6	3	0	0	-	0	4.7	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	4	5	0	0	-	0	4.4	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	5	4	0	0	-	0	4.6	4.4
4. 授業の進行は適切だった	7	2	0	0	-	0	4.8	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	5	4	0	0	-	0	4.6	4.3
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	5	4	0	0	-	0	4.6	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	5	4	0	0	-	0	4.6	4.3
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	6	3	0	0	-	0	4.7	4.2
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	6	3	0	0	-	0	4.7	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	5	4	0	0	-	0	4.6	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	5	4	0	0	-	0	4.6	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	4	4	1	0	-	0	4.3	4.3
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	4	4	1	0	-	0	4.3	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	6	3	0	0	-	0	4.7	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	4	5	0	0	-	0	4.4	4.3

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

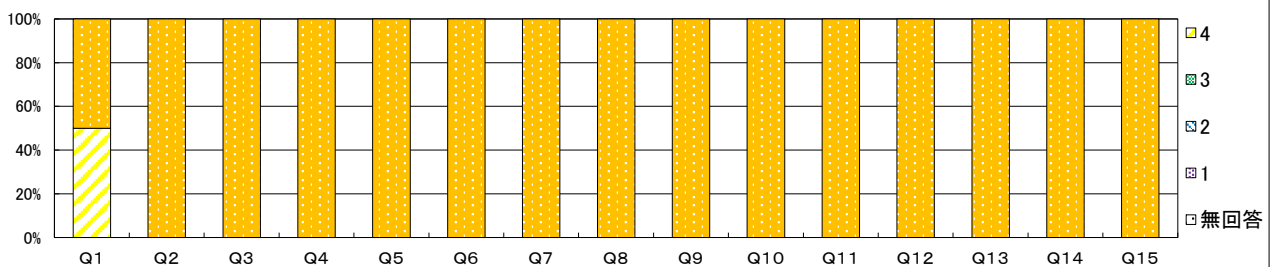
結果全体に対するコメント

科目名	(500016) 4000152F12100800 独立助産演習		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎2年・教育1年	回収数	2人
必修・選択の別	基礎必修・教育必修	回収率	10.5%

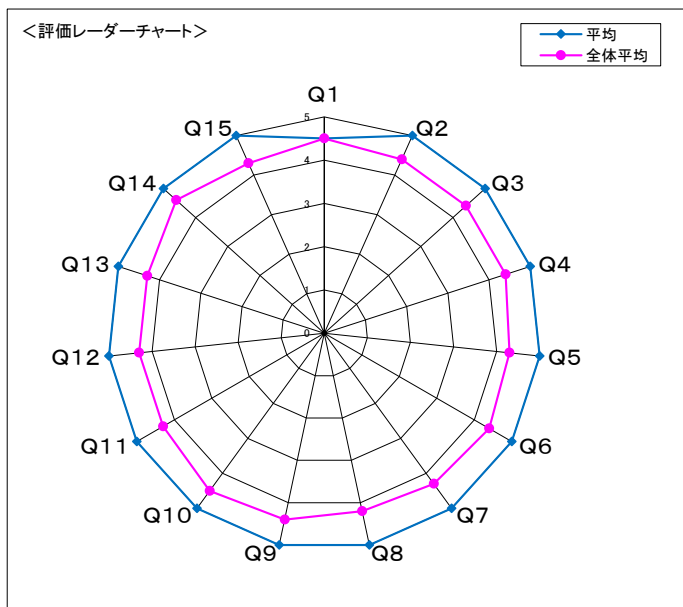
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	1	1	0	0	-	0	4.5	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	2	0	0	0	-	0	5.0	4.4
3. 授業の時間数は適当だった	2	0	0	0	-	0	5.0	4.4
4. 授業の進行は適切だった	2	0	0	0	-	0	5.0	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	2	0	0	0	-	0	5.0	4.3
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	2	0	0	0	-	0	5.0	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	2	0	0	0	-	0	5.0	4.3
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	2	0	0	0	-	0	5.0	4.2
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	2	0	0	0	-	0	5.0	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	2	0	0	0	-	0	5.0	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	2	0	0	0	-	0	5.0	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	2	0	0	0	-	0	5.0	4.3
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	2	0	0	0	-	0	5.0	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	2	0	0	0	-	0	5.0	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	2	0	0	0	-	0	5.0	4.3

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント

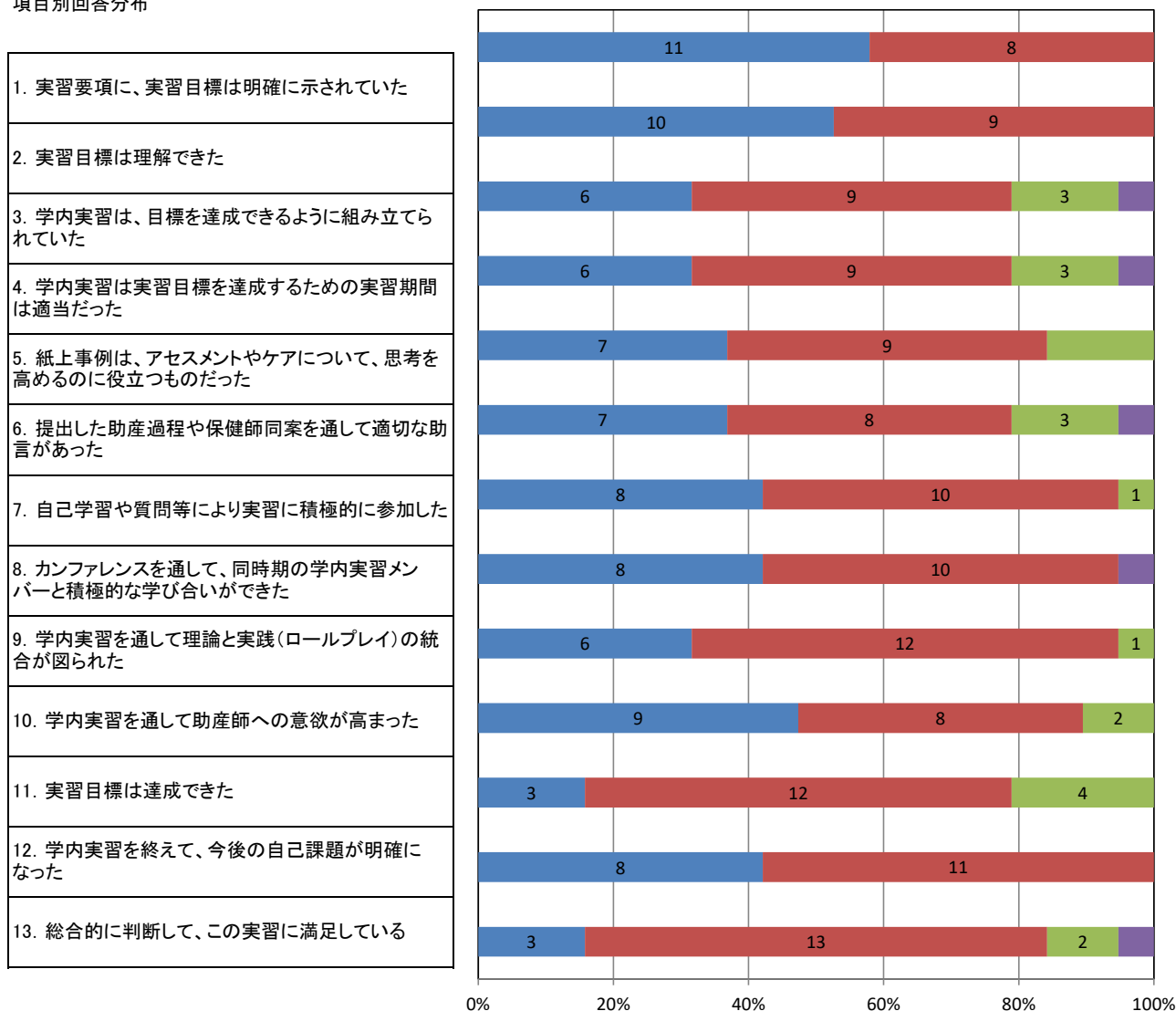
2020年度前期 授業評価アンケート結果集計表(助産研究科用)

天使大学

科目名	マタニティサイクル助産ケア基礎実習		
学科	助産研究科	履修者数	21人
学年	1年	回収数	19人
必修・選択の別	必修	回収率	90.5%

■ とてもそう思う ■ そう思う ■ どちらともいえない ■ そう思わない ■ 全くそう思わない

項目別回答分布



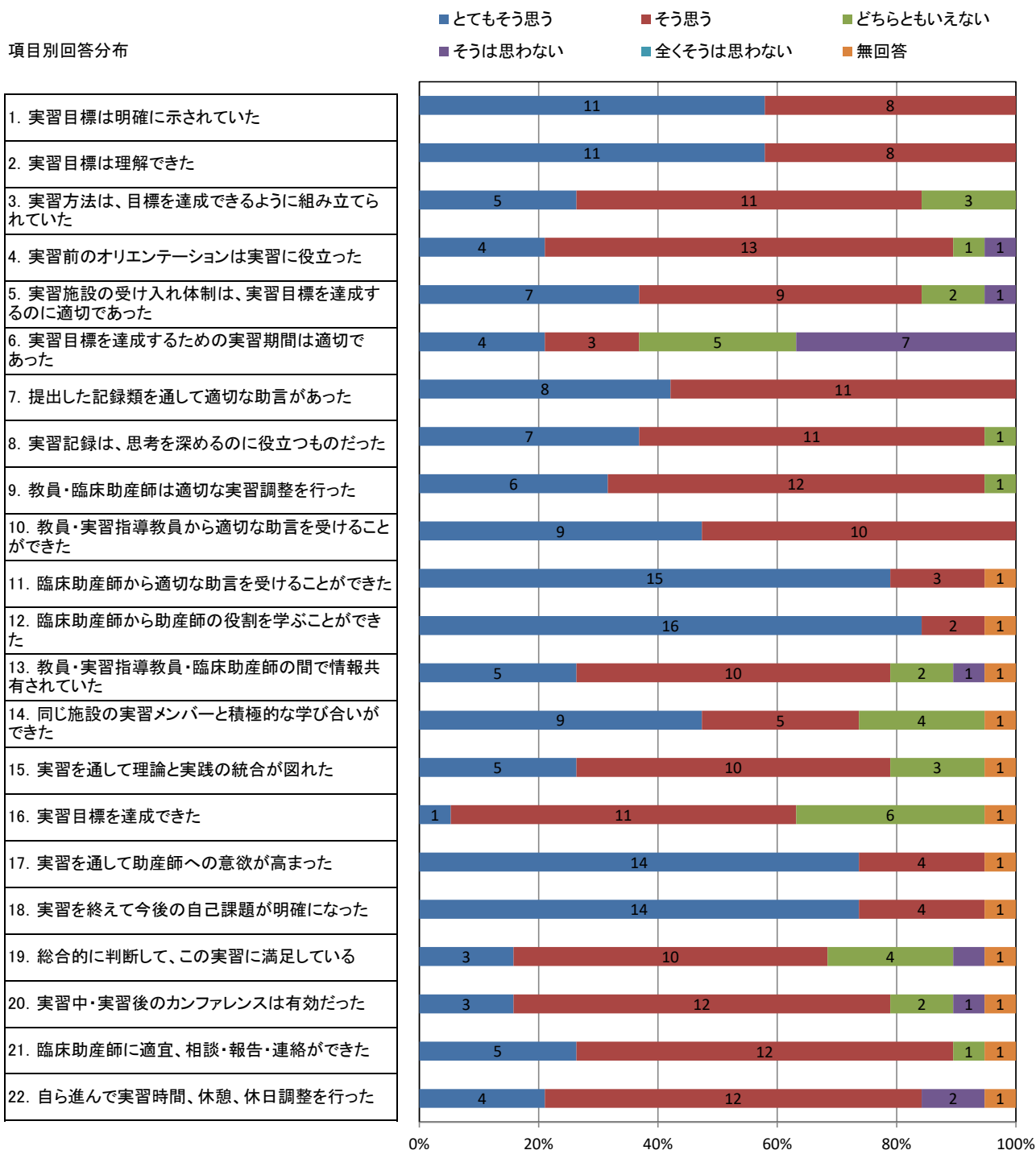
自由記載に対するコメント

急遽、学内実習に切り替えたことから、十分な学習環境を整えられなかったことは申し訳なく思っています。ご指摘のあった、実習方法、提出物を統一すること、早目の連絡、日程調整については、今後の課題として来年度以降、配慮していきたいと思っております。

結果全体に対するコメント

今後、社会状況に応じた対応ができるように実習方法、内容についての事前準備をする。また、感染予防を考慮した実習体制を整える。

科目名	マタニティサイクル助産ケア統合実習 I		
学科	助産研究科	履修者数	21人
学年	1年	回収数	19人
必修・選択の別	必修	回収率	90.5%



自由記載に対するコメント

結果全体に対するコメント
 「実習期間は適切であった」という項目に対してそう「そうは思わない」という返答が多く見られました。これは、新型コロナウイルス感染症の社会情勢から、実習が中止となり予定されていた実習内容を行うことができなかったためと推測されます。そのような中で、学生は医療従事者の1人として感染対策を遵守し、対象者に対しできる限りのケアを実践できたと思います。

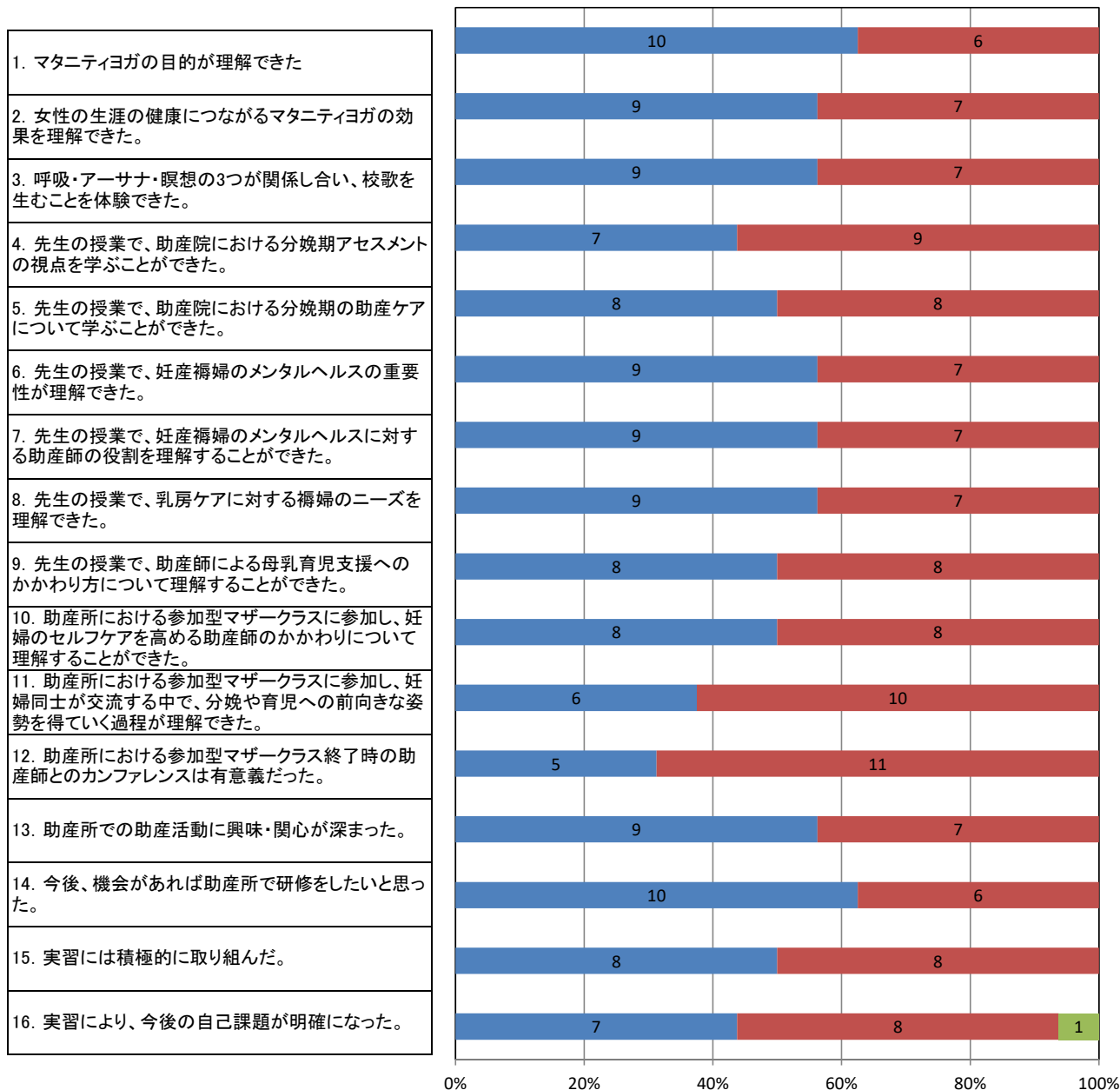
2020年度前期 授業評価アンケート結果集計表(助産研究科用)

天使大学

科目名	マタニティサイクル独立助産実習		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	2年	回収数	16人
必修・選択の別	必修	回収率	84.2%

■ とてもそう思う ■ そう思う ■ そうは思わない ■ 全くそうは思わない

項目別回答分布



自由記載に対するコメント

新型コロナウイルス感染症対策のため、道外との往来に制限があるなど、本来の臨地での実習ができなかった。感染の収束状況によっては、実習時期を変えての実施を考えていたため、学内実習に変更決定の時期が12月と遅くなった。院生には、もう少し早く見通しを伝えておくと良かった。

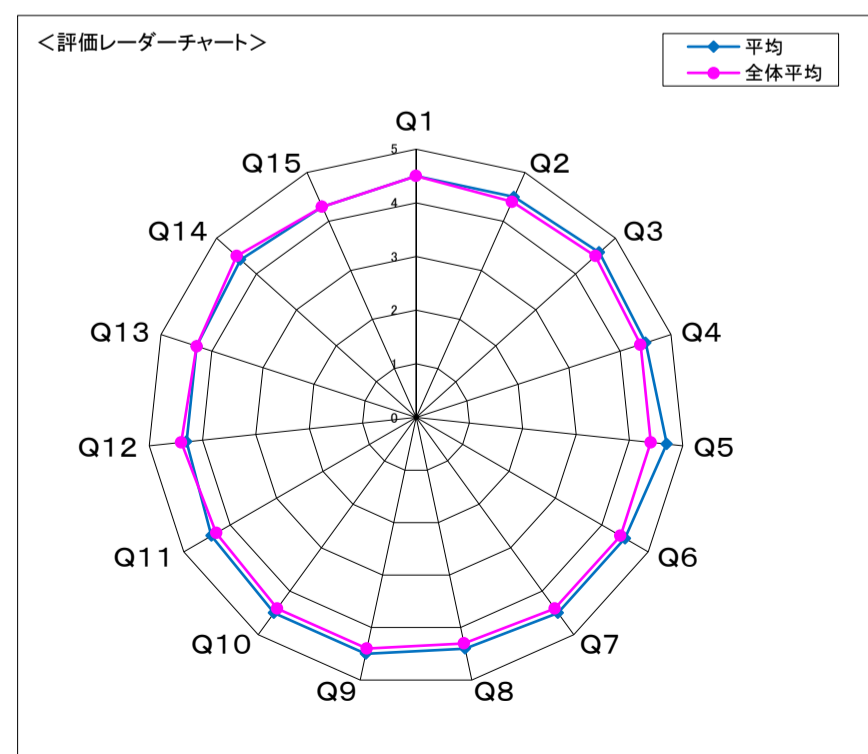
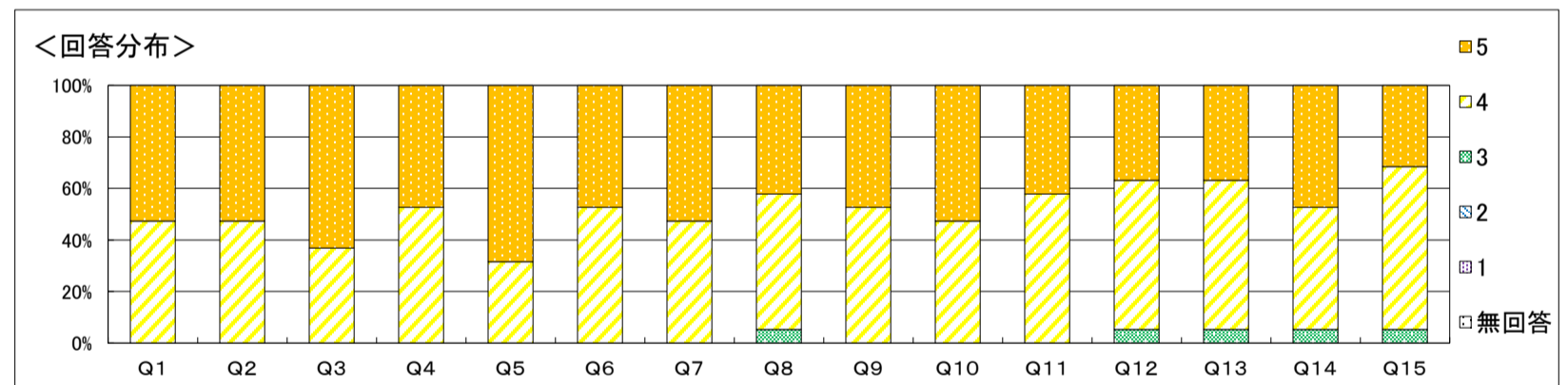
結果全体に対するコメント

学内実習に変更となり、急遽企画したプログラムであったが、助産ケアの中でも特に専門的な認定を受けている教員や臨床専任教授との連携と協同によって充実した内容となった。院生の評価も高かった。

科目名	(500029) 40000282F13100100 子育て支援論 I		
学科	助産研究科	履修者数	21人
学年	1	回収数	19人
必修・選択の別	必修	回収率	90.5%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	10	9	0	0	-	0	4.5	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	10	9	0	0	-	0	4.5	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	12	7	0	0	-	0	4.6	4.5
4. 授業の進行は適切だった	9	10	0	0	-	0	4.5	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	13	6	0	0	-	0	4.7	4.4
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	9	10	0	0	-	0	4.5	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	10	9	0	0	-	0	4.5	4.4
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	8	10	1	0	-	0	4.4	4.3
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	9	10	0	0	-	0	4.5	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	10	9	0	0	-	0	4.5	4.4
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	8	11	0	0	-	0	4.4	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	7	11	1	0	-	0	4.3	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	7	11	1	0	-	0	4.3	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	9	9	1	0	-	0	4.4	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	6	12	1	0	-	0	4.3	4.3



自由記載に関するコメント

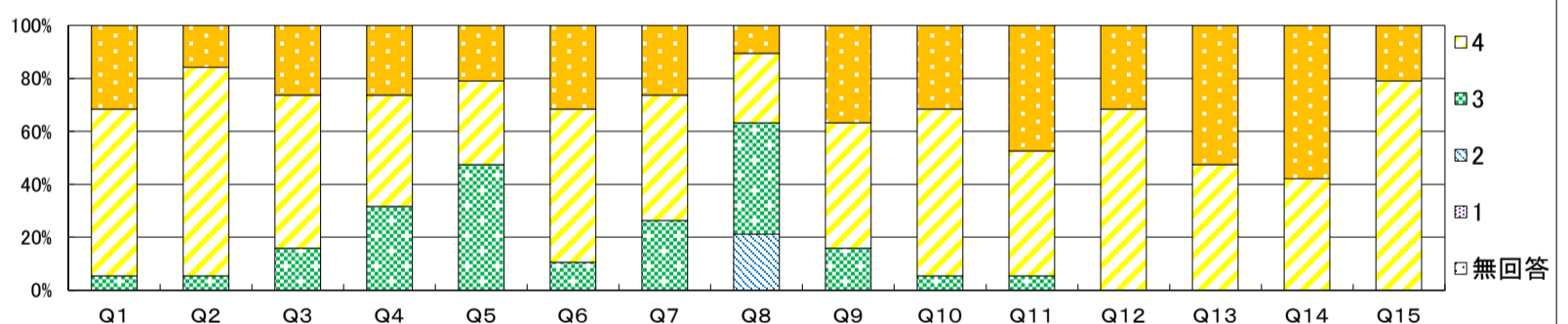
結果全体に対するコメント
 概ね「5」、「4」の回答であり。ほぼ全体平均と合致している。今後に向けては、事前、事後の効果的な自己学習方法を検討していく。また、さらに最新の情報・話題が提供できるように工夫する。

科目名	(500017) 4000162F13100400 性教育 I		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎2年・教育1年	回収数	19人
必修・選択の別	基礎必修・教育選択	回収率	100.0%

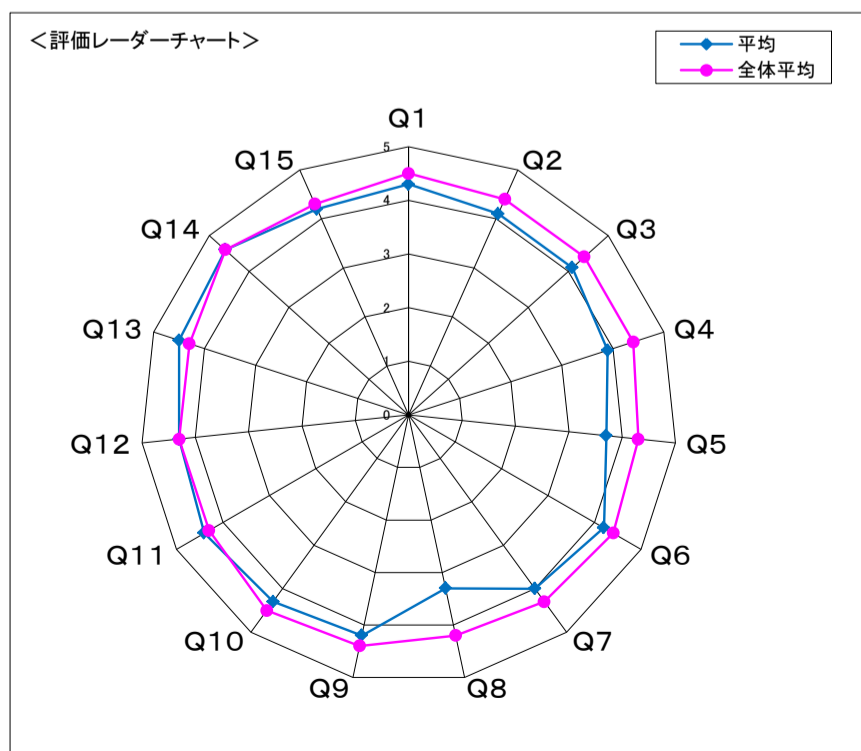
項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	6	12	1	0	-	0	4.3	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	3	15	1	0	-	0	4.1	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	5	11	3	0	-	0	4.1	4.4
4. 授業の進行は適切だった	5	8	6	0	-	0	3.9	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	4	6	9	0	-	0	3.7	4.3
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	6	11	2	0	-	0	4.2	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	5	9	5	0	-	0	4.0	4.3
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	2	5	8	4	-	0	3.3	4.2
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	7	9	3	0	-	0	4.2	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	6	12	1	0	-	0	4.3	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	9	9	1	0	-	0	4.4	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	6	13	0	0	-	0	4.3	4.3
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	10	9	0	0	-	0	4.5	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	11	8	0	0	-	0	4.6	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	4	15	0	0	-	0	4.2	4.3

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



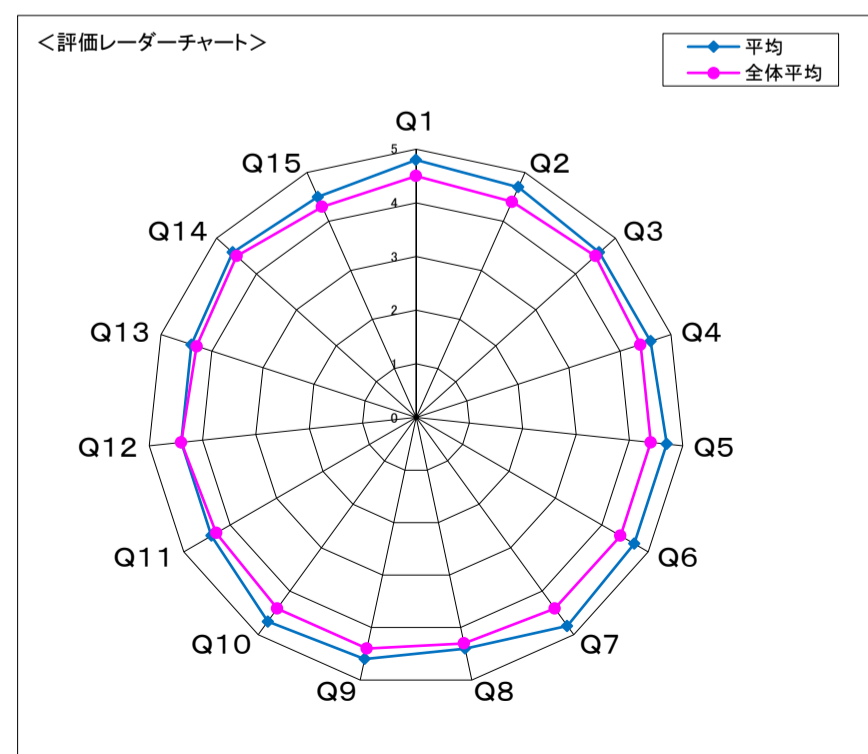
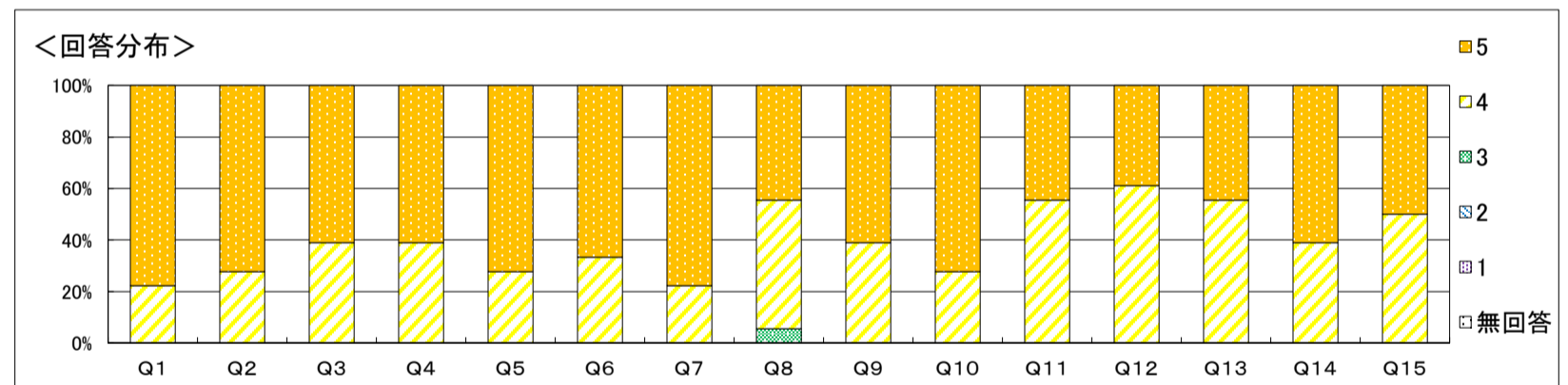
自由記載に関するコメント
 授業を通して、性についての自己認識が深められた、クラスメートからの学びが大きかった、とのコメントがあった。
 ミニ性教育として個人作業による動画作成を課したが、教員が想定以上に時間と労力を要し、負担が大きかったようで反省している。しかし、各院生の完成した動画の質の高さは、教員の期待以上であった。

結果全体に対するコメント
 授業の進行や授業の方法、要求される作業量についての評価は平均が3点台を低い結果であった。今年度はzoomによる授業が多く、講義室内での意見交換やグループワークができず、個人作業の課題が多かったことが、院生の負担を大きくしたと考える。
 「新たな知見や考えが持てた」「履修目標を達成できた」との評価が4.6と高かったことは評価できる。

科目名	(500030) 40000292F13100700 ウィメンズヘルス I		
学科	助産研究科	履修者数	21人
学年	1	回収数	18人
必修・選択の別	必修	回収率	85.7%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	14	4	0	0	-	0	4.8	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	13	5	0	0	-	0	4.7	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	11	7	0	0	-	0	4.6	4.5
4. 授業の進行は適切だった	11	7	0	0	-	0	4.6	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	13	5	0	0	-	0	4.7	4.4
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	12	6	0	0	-	0	4.7	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	14	4	0	0	-	0	4.8	4.4
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	8	9	1	0	-	0	4.4	4.3
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	11	7	0	0	-	0	4.6	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	13	5	0	0	-	0	4.7	4.4
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	8	10	0	0	-	0	4.4	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	7	11	0	0	-	0	4.4	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	8	10	0	0	-	0	4.4	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	11	7	0	0	-	0	4.6	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	9	9	0	0	-	0	4.5	4.3



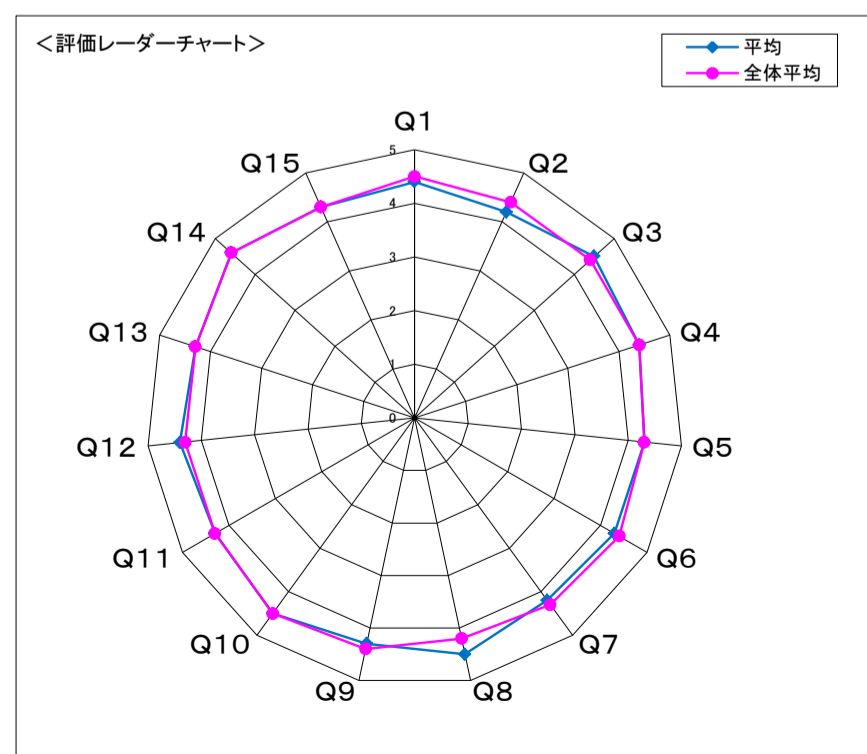
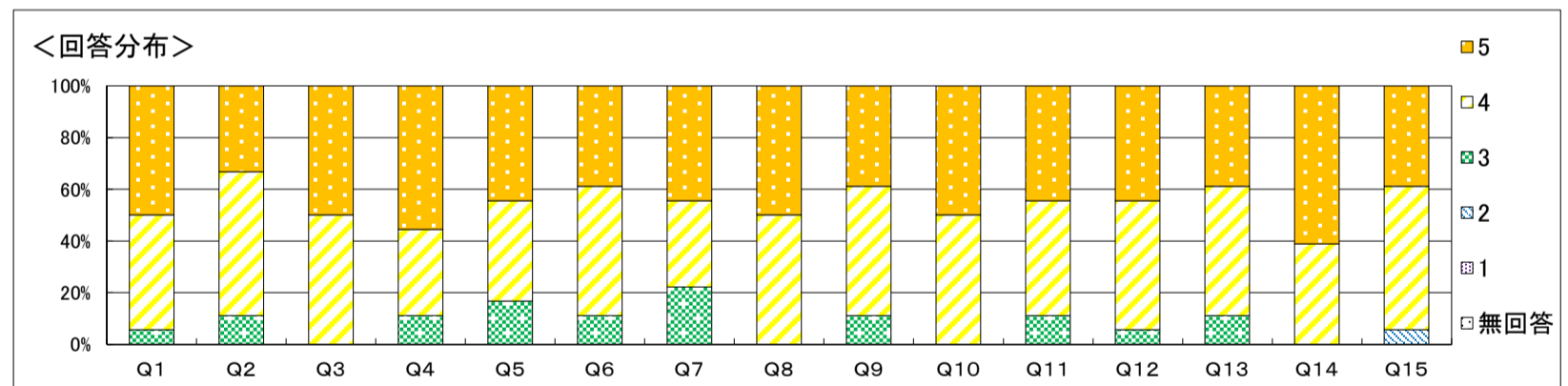
自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント
 ウィメンズヘルスの授業は、講義して下さる先生が多種多様で、専門分野に特化した貴重な動画や資料の提供があり、興味をもって授業に参加できたと推測する。

科目名	(500018) 4000172F131001000 国際助産学 I		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	基礎2年・教育1年	回収数	18人
必修・選択の別	基礎必修・教育選択	回収率	94.7%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	9	8	1	0	-	0	4.4	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	6	10	2	0	-	0	4.2	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	9	9	0	0	-	0	4.5	4.4
4. 授業の進行は適切だった	10	6	2	0	-	0	4.4	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	8	7	3	0	-	0	4.3	4.3
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	7	9	2	0	-	0	4.3	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	8	6	4	0	-	0	4.2	4.3
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	9	9	0	0	-	0	4.5	4.2
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	7	9	2	0	-	0	4.3	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	9	9	0	0	-	0	4.5	4.5
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	8	8	2	0	-	0	4.3	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	8	9	1	0	-	0	4.4	4.3
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	7	9	2	0	-	0	4.3	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	11	7	0	0	-	0	4.6	4.6
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	7	10	0	1	-	0	4.3	4.3



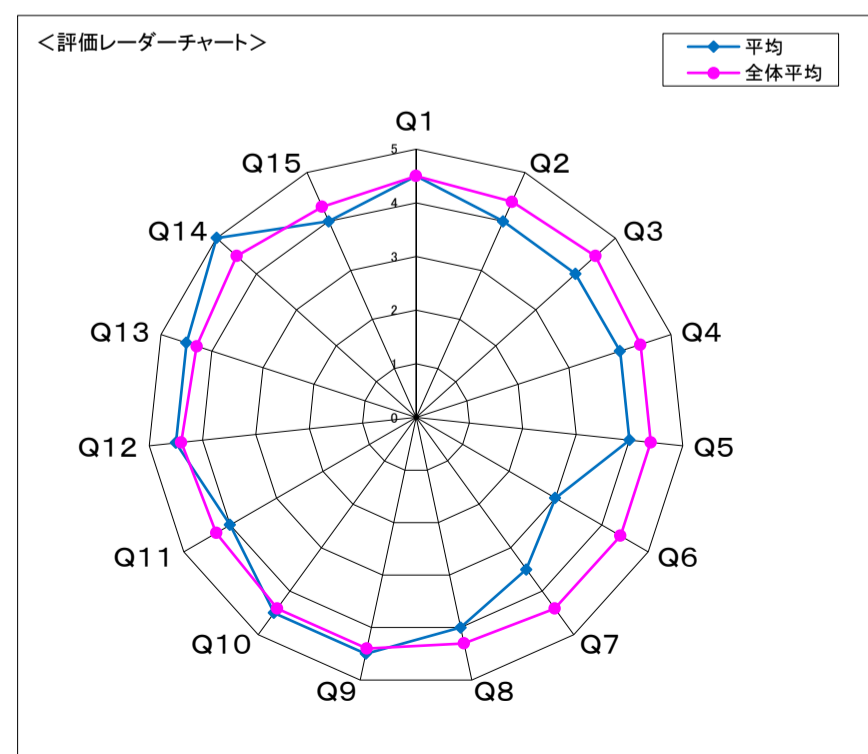
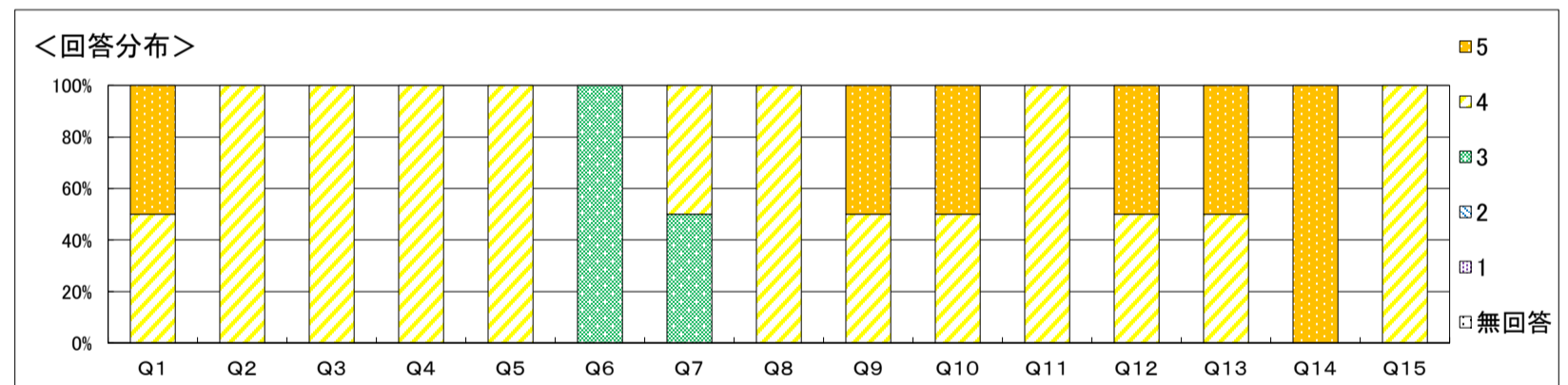
自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント
 国際助産については、院生によって興味・関心の度合いに個人差大きい傾向があるが、平均が4点台と良い評価であった。特に、「授業により、新たな知識や考え方の習得できた」の項目が高得点であったことは、担当教員の授業の工夫が有効だったと考える。

科目名	(500031) 40000302F14100100 特別統合課題研究		
学科	助産研究科	履修者数	19人
学年	2	回収数	2人
必修・選択の別	必修	回収率	10.5%

項目別回答分布(人数と平均値)

	5	4	3	2	1	無回答	平均	全体平均
1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた	1	1	0	0	-	0	4.5	4.5
2. 授業の構成は体系的に行われていた	0	2	0	0	-	0	4.0	4.4
3. 授業の時間数は適切だった	0	2	0	0	-	0	4.0	4.5
4. 授業の進行は適切だった	0	2	0	0	-	0	4.0	4.4
5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった	0	2	0	0	-	0	4.0	4.4
6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった	0	0	2	0	-	0	3.0	4.4
7. 授業内容はわかりやすく説明されていた	0	1	1	0	-	0	3.5	4.4
8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった	0	2	0	0	-	0	4.0	4.3
9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した	1	1	0	0	-	0	4.5	4.4
10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した	1	1	0	0	-	0	4.5	4.4
11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した	0	2	0	0	-	0	4.0	4.3
12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した	1	1	0	0	-	0	4.5	4.4
13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った	1	1	0	0	-	0	4.5	4.3
14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた	2	0	0	0	-	0	5.0	4.5
15. 自分は授業の履修目標は達成できた	0	2	0	0	-	0	4.0	4.3



自由記載に関するコメント
無

結果全体に対するコメント
アンケート回収率が非常に悪かった(10%)次年度からはアンケート回答の声掛けを行う。
今年度はコロナの影響で、事例研究の独立助産学実習が中止になり、急遽、文献検索に研究方法を変更した経緯があった。
2名の回答によるコメントは意味をなさないとと思う。